



4 PHIL HAR MONY

April 2021
NHK Symphony Orchestra, Tokyo

感染症予防対策についての取り組み

みなさまに安心して演奏をお楽しみいただけるように、
以下の感染症予防対策について、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

- 会場内では、必ずマスクを着用し、手洗い、手指の消毒、咳エチケットにご協力ください。
- 感染予防のため、休憩中も含め、客席内ではご自身のお座席以外への着席はご遠慮ください。
- 入退場時および会場内では、まわりの方々と距離を確保した上で行動くださいますよう、ご協力をお願いいたします。また、混雑緩和のために入退場時に、制限をさせていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 当日は極力接触を避けるため、会場内での当日券販売、チケットの当日精算は行いません。必ず事前に発券されたチケットをお持ちの上、ご来場ください。
- 当日、チケット半券のもぎりは、係員の確認後、お客様ご自身でお願いいたします。
また、プログラムは所定の場所からお客様ご自身でお持ちください。
- ロビー等では大きな声での歓談はお控えください。
- 「ブラボー」等の掛け声はお控えください。
- サイン会は実施しません。また、楽屋口での出演者の入待ち・出待ちはお断りいたします。また出演者への面会やプレゼントもお断りいたします。
- 万が一、ご来場のみなさまの中から新型コロナウイルス感染者が発生した場合には、保健所など公的機関へチケット購入時にいただいたお客様の情報を提供する場合がございます。またその場合、複数枚をご購入いただいた方には、同伴者など、当日ご来場いただいた方の連絡先をお伺いいたします。あらかじめご承知おきください。

-
- 喫茶コーナーは休止しております。
 - 会場内でのお食事はお控えください。また持ち込みもご遠慮ください。
 - クロークは休止しております。
 - ブランケット等の貸し出しサービスは休止いたします。必要に応じて、防寒の備えをお勧めいたします。
 - 会場内で他の公演のチケット販売は行いません。またCD等の販売もございません。

-
- 公演により座席数を制限している場合があります。
 - 会場内のドアノブや座席の手すりなどはあらかじめ消毒を実施します。
 - 会場内の常時換気、開場中および休憩中の客席扉の開放など空気の入替えに努めます。
 - スタッフもマスクの着用等、ご来場のみなさま同様に感染予防の対策を行います。また、業務の内容により、フェイスシールドやビニール手袋の着用をさせていただきます。
 - 厚生労働省による「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)」の活用を推奨いたします。

Philharmony

CONTENTS
APRIL 2021

4

3 2021-22シーズン定期公演プログラム発表

11 [公演プログラム] **サントリーホール** | 4月10日、11日

34 [公演プログラム] **東京芸術劇場** | 4月16日、17日

39 [公演プログラム] **サントリーホール** | 4月21日、22日

44 [シリーズ] **N響百年史** | 第18回 | 震災・復興・オーケストラ! 片山杜秀

49 Information / 2020-21シーズン公演日程 / 2021年5月公演日程&プログラム /
Music Tomorrow2021速報

50 特別支援・特別協力・賛助会員

54 NHK交響楽団メンバー

55 NHK SYMPHONY ORCHESTRA, TOKYO Members

表3 役員等・団友

お客様へのお願い



公演中は携帯電話、
時計のアラーム等は
必ずお切りください



演奏は最後の余韻まで
お楽しみください



場内での録画、録音、
写真撮影は固くお断り
いたします



私語、パンフレットを
めくる音など、
物音が出ないように
ご配慮ください



演奏中の入退場は
ご遠慮ください



補聴器が
正しく装着されているか
ご確認ください

Special Thanks



NHK SYMPHONY ORCHESTRA T O K Y O

特別支援

岩谷産業株式会社

 三菱地所株式会社

東日本旅客鉄道株式会社

MIZUHO みずほ銀行

公益財団法人 渋谷育英会

With Special Support of

Iwatani Corporation

Mitsubishi Estate Co., Ltd.

East Japan Railway Company

Mizuho Bank, Ltd.

Shibuya Scholarship Foundation

NHK交響楽団は上記の各社から特別支援をいただいております。

2020年2月、ウィーン・コンツェルトハウスにて

©Lukas Beck

NHK交響楽団定期公演 2021-22シーズンプログラム (2021年9月～2022年6月)

首席指揮者パーヴォ・ヤルヴィ、桂冠名誉指揮者プロムシュテットをはじめ、ルイージ、ソヒエフ、エツェンバッハ、ヤノフスキなど、世界のクラシック音楽界をリードする指揮者たちが次々登場し、多彩なプログラムを披露します。また、レヴィット(ピアノ)、カヴァコス、ハーン(ヴァイオリン)、ミユラー・ショット(チェロ)など、最高峰のソリストたちも集結します。

※2021年3月26日現在の情報です。今後の状況によっては、出演者や曲目等が変更になる場合や、公演が中止となる場合があります。あらかじめご了承ください。

リニューアルのご案内

新シーズンでは、N響ならではの豪華な出演者や充実した演目は従来通りのままに、リニューアルします。

池袋

Aプログラム (東京芸術劇場)

- 会場&シリーズ名変更：NHKホールの改修工事に伴い、東京芸術劇場に会場を変更し「池袋Aプログラム」として開催します(2022年6月まで)。
- 2日目(日曜日)の開演時刻の変更：2:00pmに変更します。
- 1回券料金の変更：1回券の金額の見直しを行いました。公演ごとに価格は異なります。

Bプログラム (サントリーホール)

- 開催回数の変更：サントリーホールの改修工事に伴い、2022年4月公演の開催を休止します。1日目、2日目ともに通常9回ずつの開催を、8回ずつに変更します。
- 1回券料金の変更：1回券の金額の見直しを行いました。公演ごとに価格は異なります。

池袋

Cプログラム (東京芸術劇場)

- 会場&シリーズ名変更：NHKホールの改修工事に伴い、前シーズンに引き続き東京芸術劇場に会場を変更し「池袋Cプログラム」として開催します(2022年6月まで)。
- 全公演「休憩なし&60～80分程度の公演」に：これまで休憩を含め2時間程度だった公演を、コンパクトな「休憩なし&60～80分程度」に変更。
- 1回券、定期会員券の料金をよりリーズナブルに：1回券の金額の見直しを行いました。S席7,400円～D席3,200円(一般料金、税込)と、よりリーズナブルにお楽しみいただけます。これに合わせて定期会員券の価格も見直しました。
- 1日目(金曜日)の開演時刻の変更：公演のコンパクト化に伴い30分繰り下げ、7:30pmに変更します。2日目(土曜日)は従来通り2:00pm開演です。
- 「開演前の室内楽」の開催：N響メンバーによる「開演前の室内楽」を池袋Cプログラム限定で行います。1日目は6:45pm、2日目は1:15pmよりホールの舞台上で開催します。ご自身の座席で約15分のミニコンサートをお楽しみください。

A・B・Cプログラム共通

- お得なセレクト券
「WEBセレクト3+」の導入
Autumn(9～11月)、Winter(12～2月)、Spring(4～6月)の各シーズンで行われる9つの定期公演のうち、1回券を1度に3公演以上まとめて購入すると、1回券の一般料金より約8%割引いたします。座席・券種も自由にお選びいただけます(WEBチケットN響のみで販売)。

詳細は下のQRコードから



N響ホームページ
(ニュース:N響定期リニューアル)

休止となった2020-21シーズン定期会員券の継続手続きをされたお客様には、「会員券更新のご案内」を5月下旬にお送りする予定です。

PROGRAM

池袋

A

東京芸術劇場 コンサートホール

[土] 6:00pm

[日] 2:00pm

※ NHKホールの改修工事に伴い、定期公演Aプログラムは東京芸術劇場(池袋)に会場を移し、「池袋Aプログラム」として行います。
 ※ 2日目の開演時刻は1時間繰り上げ、2:00pmとさせていただきます(1日目は今まで通り6:00pm開演)。
 ※ 1回券料金が公演ごとに異なります。

2021

September

09

第1938回

9/25 [土] 6:00pm

9/26 [日] 2:00pm

充実一途のベテラン
沼尻竜典とマーラーに鋭く切り込む

モーツァルト／クラリネット協奏曲 イ長調 K. 622
マーラー／交響曲 第1番 二長調「巨人」

指揮：沼尻竜典
クラリネット：アンドレアス・オッテンザマー

一般	ユースチケット
S ¥8,900	S ¥5,500
A ¥7,400	A ¥4,500
B ¥5,800	B ¥3,500
C ¥4,700	C ¥2,500
D ¥3,700	D ¥1,500

2021

October

10

第1939回

10/16 [土] 6:00pm

10/17 [日] 2:00pm

第1次世界大戦の傷跡が滲むニルセンの問題作を
プロムシュテットが振る

ブラームス／ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品77
ニルセン／交響曲 第5番 作品50

指揮：ヘルベルト・プロムシュテット
ヴァイオリン：レオニダス・カヴァコス

一般	ユースチケット
S ¥9,800	S ¥5,800
A ¥8,400	A ¥4,800
B ¥6,700	B ¥3,800
C ¥5,400	C ¥2,800
D ¥4,400	D ¥1,800

2021

November

11

第1942回

11/13 [土] 6:00pm

11/14 [日] 2:00pm

音楽の都、ウィーンの伝統の結晶
フランツ・シュミットの《交響曲第2番》

ウェーバー／歌劇「魔弾の射手」序曲
リスト／ピアノ協奏曲 第2番 イ長調
フランツ・シュミット／交響曲 第2番 変ホ長調

指揮：ファビオ・ルイーゼ
ピアノ：アレクサンドロ・タヴェルナ

一般	ユースチケット
S ¥9,800	S ¥5,800
A ¥8,400	A ¥4,800
B ¥6,700	B ¥3,800
C ¥5,400	C ¥2,800
D ¥4,400	D ¥1,800

2021

December

12

第1945回

12/4 [土] 6:00pm

12/5 [日] 2:00pm

男女の心の綾を精妙に描く
シェーンベルク初期の傑作を聴く

ブラームス／ハイドンの主題による変奏曲 作品56a
R. シュトラウス／4つの最後の歌
シェーンベルク／浄められた夜 作品4

指揮：山田和樹
ソプラノ：佐々木典子

一般	ユースチケット
S ¥8,900	S ¥5,500
A ¥7,400	A ¥4,500
B ¥5,800	B ¥3,500
C ¥4,700	C ¥2,500
D ¥3,700	D ¥1,500

2022

01

January

第1948回

1/15 土 6:00pm

1/16 日 2:00pm

原田慶太楼と反田恭平が捧げる
ポーランド、パリへのオマージュ

ショパン(グラスノフ編)／軍隊ポロネーズ Ⅰ長調 (管弦楽版)
ショパン(ストラヴィンスキー編)／夜想曲 Ⅰ変イ長調 (管弦楽版)
パデレフスキ／ポーランド幻想曲 作品19*

ストラヴィンスキー／バレエ音楽「火の鳥」(1910年版)

指揮：原田慶太楼 ピアノ：反田恭平*

一般	ユースチケット
S ¥8,900	S ¥5,500
A ¥7,400	A ¥4,500
B ¥5,800	B ¥3,500
C ¥4,700	C ¥2,500
D ¥3,700	D ¥1,500

2022

02

February

第1951回

2/5 土 6:00pm

2/6 日 2:00pm

バーヴォ・ヤルヴィ、レヴィットと究める
ドイツロマン主義の精髓

ブラームス／ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 作品83

シューマン／交響曲 第2番 ハ長調 作品61

指揮：バーヴォ・ヤルヴィ

ピアノ：イゴール・レヴィット

一般	ユースチケット
S ¥9,800	S ¥5,800
A ¥8,400	A ¥4,800
B ¥6,700	B ¥3,800
C ¥5,400	C ¥2,800
D ¥4,400	D ¥1,800

2022

04

April

第1954回

4/9 土 6:00pm

4/10 日 2:00pm

ドイツ最高峰の巨匠と紡ぐ
ベートーヴェンの「舞踏交響曲」

ドヴォルザーク／序曲「謝肉祭」作品92

モーツァルト／フルート協奏曲 第1番 ト長調 K. 313

ベートーヴェン／交響曲 第7番 Ⅰ長調 作品92

指揮：クリストフ・エッセンバッハ

フルート：スタティス・カラバノス

一般	ユースチケット
S ¥9,800	S ¥5,800
A ¥8,400	A ¥4,800
B ¥6,700	B ¥3,800
C ¥5,400	C ¥2,800
D ¥4,400	D ¥1,800

2022

05

May

第1956回

5/14 土 6:00pm

5/15 日 2:00pm

こだわりの名匠と一から再構築する
シューベルトの巨大な音楽遺産

シューマン／ヴァイオリン協奏曲 Ⅱ短調

シューベルト／交響曲 第8番 ハ長調 D. 944「ザ・グレート」

指揮：マレク・ヤノフスキ

ヴァイオリン：アリョーナ・バーエフ

一般	ユースチケット
S ¥8,900	S ¥5,500
A ¥7,400	A ¥4,500
B ¥5,800	B ¥3,500
C ¥4,700	C ¥2,500
D ¥3,700	D ¥1,500

2022

06

June

第1959回

6/11 土 6:00pm

6/12 日 2:00pm

フランス音楽と文学の幸せなマリージュ
その耽美的な世界に身を委ねる

デュカス／バレエ音楽「ペリ」(ファンファーレつき)

ラヴェル／シェエラザード*

ドビュッシー／牧神の午後への前奏曲

フロラン・シュミット／バレエ組曲「サロメの悲劇」作品50

指揮：ステファヌ・ドゥネーヴ

メゾ・ソプラノ：ステファニー・ドゥストラック*

一般	ユースチケット
S ¥8,900	S ¥5,500
A ¥7,400	A ¥4,500
B ¥5,800	B ¥3,500
C ¥4,700	C ¥2,500
D ¥3,700	D ¥1,500

(以上、すべて税込)

年間会員券(9回) | S ¥65,970 A ¥56,610 B ¥44,010 C ¥35,730 D ¥27,540 D(ユースチケット) ¥9,000(税込)

シーズン会員券(3回) | S ¥23,820 A ¥19,860 B ¥15,570 C ¥12,540 D ¥9,480 D(ユースチケット) ¥3,900(税込)

PROGRAM

B

サントリーホール

[水] 7:00pm

[木] 7:00pm

※サントリーホールの改修工事に伴い、2022年4月の公演は開催を休止します。
※1回券料金が公演ごとに異なります。

2021

September

09

第1937回

9/15 [水] 7:00pm

9/16 [木] 7:00pm

古楽の巨星が新たな命を吹き込む
バロック・古典の名品

バッハ／組曲 第3番 二長調 BWV1068
C. P. E. バッハ／チェロ協奏曲 イ短調
ハイデン／交響曲 第98番 変ロ長調 Hob. I-98
指揮：トン・コブマン
チェロ：ニコラ・アルトシュテット

一般	ユースチケット
S ¥8,900	S ¥5,500
A ¥7,400	A ¥4,500
B ¥5,800	B ¥3,500
C ¥4,700	C ¥2,500
D ¥3,700	D ¥1,500

2021

October

10

第1941回

10/27 [水] 7:00pm

10/28 [木] 7:00pm

プロムシュテットが慈しんで奏でる
母国スウェーデンの傑作と《運命》

ステンハンマル／セレナード へ長調 作品31
ベートーヴェン／交響曲 第5番 ハ短調 作品67
指揮：ヘルベルト・プロムシュテット

一般	ユースチケット
S ¥9,800	S ¥5,800
A ¥8,400	A ¥4,800
B ¥6,700	B ¥3,800
C ¥5,400	C ¥2,800
D ¥4,400	D ¥1,800

2021

November

11

第1944回

11/24 [水] 7:00pm

11/25 [木] 7:00pm

ルイーゼの十八番
チャイコフスキー《交響曲第5番》を堪能する

パガニーニ／ヴァイオリン協奏曲 第1番 二長調 作品6
チャイコフスキー／交響曲 第5番 ホ短調 作品64
指揮：ファビオ・ルイーゼ
ヴァイオリン：フランチェスカ・デゴ

一般	ユースチケット
S ¥9,800	S ¥5,800
A ¥8,400	A ¥4,800
B ¥6,700	B ¥3,800
C ¥5,400	C ¥2,800
D ¥4,400	D ¥1,800

2021

December

12

第1947回

12/15 [水] 7:00pm

12/16 [木] 7:00pm

期待の俊英指揮者による
ドイツ・オーストリア音楽を俯瞰するプログラム

ハイデン／交響曲 第22番 変ホ長調 Hob. I-22「哲学者」
HK グルーバー／エアリアル[日本初演]*
R. シュトラウス／交響詩「ツァラトゥストラはこう語った」
作品30
指揮：ディマ・スロボドニェウク
トランペット：ホーカン・ハーデンベルガー*

一般	ユースチケット
S ¥8,900	S ¥5,500
A ¥7,400	A ¥4,500
B ¥5,800	B ¥3,500
C ¥4,700	C ¥2,500
D ¥3,700	D ¥1,500

2022

01

January

第1950回

1/26 水 7:00pm

1/27 木 7:00pm

色彩の魔術師・ツヒエフがセレクトする
プロコフィエフの煌めく名品

プロコフィエフ／歌劇「戦争と平和」―「ワルツ」
プロコフィエフ／ピアノ協奏曲 第3番 八長調 作品26
プロコフィエフ／交響曲 第5番 変ロ長調 作品100

指揮：トゥガン・ツヒエフ
ピアノ：ハオチェン・チャン

一般

ユースチケット

S ¥8,900 S ¥5,500

A ¥7,400 A ¥4,500

B ¥5,800 B ¥3,500

C ¥4,700 C ¥2,500

D ¥3,700 D ¥1,500

2022

02

February

第1953回

2/16 水 7:00pm

2/17 木 7:00pm

バーヴォ・ヤルヴィ&ハーンの
イギリス&アメリカ・プログラム

プリテン／歌劇「ピーター・グライムズ」
―4つの海の間奏曲 作品33a
バーバー／ヴァイオリン協奏曲 作品14
エルガー／変奏曲「謎」作品36

指揮：バーヴォ・ヤルヴィ
ヴァイオリン：ヒラリー・ハーン

一般

ユースチケット

S ¥9,800 S ¥5,800

A ¥8,400 A ¥4,800

B ¥6,700 B ¥3,800

C ¥5,400 C ¥2,800

D ¥4,400 D ¥1,800

2022

04

April

サントリーホールの改修工事に伴い、
公演の開催を休止します。

2022

05

May

第1958回

5/25 水 7:00pm

5/26 木 7:00pm

名キャプテンルイージと
大海原を音楽で航海する

メンデルスゾーン／序曲「静かな海と楽しい航海」作品27
ラヴェル／ピアノ協奏曲 ト長調
リムスキー・コルサコフ／交響組曲「シェエラザード」作品35

指揮：ファビオ・ルイージ
ピアノ：小菅 優

一般

ユースチケット

S ¥9,800 S ¥5,800

A ¥8,400 A ¥4,800

B ¥6,700 B ¥3,800

C ¥5,400 C ¥2,800

D ¥4,400 D ¥1,800

2022

06

June

第1961回

6/22 水 7:00pm

6/23 木 7:00pm

しなやかに、颯爽と！
鈴木優人のモーツァルト《ジュピター》

バッハ（鈴木優人編）／パッサカリアとフーガ 八短調 BWV582
プリテン／ヴァイオリン協奏曲 作品15
モーツァルト／交響曲 第41番 八長調 K. 551「ジュピター」

指揮：鈴木優人
ヴァイオリン：郷古 廉

一般

ユースチケット

S ¥8,900 S ¥5,500

A ¥7,400 A ¥4,500

B ¥5,800 B ¥3,500

C ¥4,700 C ¥2,500

D ¥3,700 D ¥1,500

(以上、すべて税込)

年間会員券(8回) | S ¥58,640 A ¥50,320 B ¥39,120 C ¥31,760 D ¥24,480 D(ユースチケット) ¥8,000(税込)

※Bプログラムではシーズン会員券の販売は行いません

PROGRAM

池袋

C

東京芸術劇場 コンサートホール

[金] 7:30pm / [土] 2:00pm

- ※ NHKホールの改修工事に伴い、定期公演Cプログラムは前シーズンに引き続き東京芸術劇場(池袋)に会場を移し、「池袋Cプログラム」として行います。
- ※ 休憩のない、60～80分程度の公演となります。
- ※ 1日目の開演時刻は、7:30pmに変更させていただきます。2日目は前シーズンに引き続き、2:00pm開演です。
- ※ 1回券と定期会員券の料金を変更しました。
- ※ 開演前に舞台上で、N響メンバーによる室内楽のミニコンサートを行います(15分程度、1日目:6:45pm～/2日目:1:15pm)。室内楽演奏中の客席への出入りは自由です。

2021

September

09

第1936回

9/10 [金] 7:30pm

9/11 [土] 2:00pm

バルヴォ・ヤルヴィ&N響のバルトーク第3弾
名作《オケコン》を再び!

バルトーク / 組曲「中国の不思議な役人」
バルトーク / 管弦楽のための協奏曲

指揮:バルヴォ・ヤルヴィ

一般	ユースチケット
S ¥7,400	S ¥4,500
A ¥6,500	A ¥4,000
B ¥5,200	B ¥3,000
C ¥4,200	C ¥2,000
D ¥3,200	D ¥1,400

2021

October

10

第1940回

10/22 [金] 7:30pm

10/23 [土] 2:00pm

巨匠が愛情をこめて奏でる
グリーグとドヴォルザークの名作

グリーグ / 「パール・ギュント」組曲 第1番 作品46
ドヴォルザーク / 交響曲 第8番 ト長調 作品88

指揮:ヘルベルト・ブロムシュテット

一般	ユースチケット
S ¥7,400	S ¥4,500
A ¥6,500	A ¥4,000
B ¥5,200	B ¥3,000
C ¥4,200	C ¥2,000
D ¥3,200	D ¥1,400

2021

November

11

第1943回

11/18 [木] ※ 7:30pm

11/19 [金] 7:30pm

ブルックナーに情熱を傾ける
ルイーゼの《交響曲第4番「ロマンチック」》

ブルックナー / 交響曲 第4番 変ホ長調「ロマンチック」

指揮:ファビオ・ルイーゼ

※通常土曜日の公演(池袋C-2)を木曜日7:30pmに開催します

一般	ユースチケット
S ¥7,400	S ¥4,500
A ¥6,500	A ¥4,000
B ¥5,200	B ¥3,000
C ¥4,200	C ¥2,000
D ¥3,200	D ¥1,400

2021

December

12

第1946回

12/10 [金] 7:30pm

12/11 [土] 2:00pm

飛躍を遂げたロシアの気鋭が
10年ぶりにN響の指揮台に立つ

チャイコフスキー / ロココ風の主題による変奏曲 作品33*
ムソルグスキー(ラヴェル編) / 組曲「展覧会の絵」

指揮:ワシーリ・ペトレンコ
チェロ:ダニエル・ミュラー・ショット*

一般	ユースチケット
S ¥7,400	S ¥4,500
A ¥6,500	A ¥4,000
B ¥5,200	B ¥3,000
C ¥4,200	C ¥2,000
D ¥3,200	D ¥1,400

2022

01

January

第1949回

1/21 金 7:30pm

1/22 土 2:00pm

濃密なロマンの香りを放つ
ソヒエフのブラームスブルッフ／ヴァイオリン協奏曲 第1番ト短調 作品26
ブラームス／交響曲 第3番 へ長調 作品90指揮：トゥガン・ソヒエフ
ヴァイオリン：ワディム・グルズマン

一般

ユースチケット

S ¥7,400	S ¥4,500
A ¥6,500	A ¥4,000
B ¥5,200	B ¥3,000
C ¥4,200	C ¥2,000
D ¥3,200	D ¥1,400

2022

02

February

第1952回

2/11 金 祝 7:30pm

2/12 土 2:00pm

バーヴォ・ヤルヴィ&N響が大管弦楽で描く
アルプスの壮大なパノラマR. シュトラウス／バレエ音楽「ヨセフの伝説」から交響的断章
R. シュトラウス／アルプス交響曲 作品64

指揮：バーヴォ・ヤルヴィ

一般

ユースチケット

S ¥7,400	S ¥4,500
A ¥6,500	A ¥4,000
B ¥5,200	B ¥3,000
C ¥4,200	C ¥2,000
D ¥3,200	D ¥1,400

2022

04

April

第1955回

4/15 金 7:30pm

4/16 土 2:00pm

孤高の巨匠が迫るマーラーの本質
——エッセンバッハの《交響曲第5番》

マーラー／交響曲 第5番 嬰ハ短調

指揮：クリストフ・エッセンバッハ

一般

ユースチケット

S ¥7,400	S ¥4,500
A ¥6,500	A ¥4,000
B ¥5,200	B ¥3,000
C ¥4,200	C ¥2,000
D ¥3,200	D ¥1,400

2022

05

May

第1957回

5/20 金 7:30pm

5/21 土 2:00pm

ルイーゼと丹念に磨き込む
ウィーン古典派の名品モーツァルト／歌劇「ドンジョヴァンニ」序曲
モーツァルト／ピアノ協奏曲 第20番 二短調 K. 466
ベートーヴェン／交響曲 第8番 へ長調 作品93指揮：ファビオ・ルイーゼ
ピアノ：アレクサンドル・メルニコフ

一般

ユースチケット

S ¥7,400	S ¥4,500
A ¥6,500	A ¥4,000
B ¥5,200	B ¥3,000
C ¥4,200	C ¥2,000
D ¥3,200	D ¥1,400

2022

06

June

第1960回

6/17 金 7:30pm

6/18 土 2:00pm

仏米2人の作曲家が伝える
1920～30年代パリの息吹プーランク／バレエ組曲「牝鹿」
プーランク／オルガン協奏曲ト短調
ガーシュウィン／パリのアメリカ人指揮：ステファヌ・ドゥナーヴ
オルガン：オリヴィエ・ラトリー

一般

ユースチケット

S ¥7,400	S ¥4,500
A ¥6,500	A ¥4,000
B ¥5,200	B ¥3,000
C ¥4,200	C ¥2,000
D ¥3,200	D ¥1,400

(以上、すべて税込)

年間会員券(9回) | S ¥56,610 A ¥49,725 B ¥39,780 C ¥32,130 D ¥24,480 D(ユースチケット) ¥8,820(税込)
シーズン会員券(3回) | S ¥19,890 A ¥17,520 B ¥14,010 C ¥11,250 D ¥8,550 D(ユースチケット) ¥3,780(税込)

チケットのご案内(定期公演 2021年9月~2022年6月)

1回券

公演ごとにチケットをお買い求めいただけます。料金は公演によって異なります。各公演の情報をご覧ください。

発売開始日	9・10・11月	8月4日[水](会員) / 8月9日[月・休](一般)
	12・1・2月	10月26日[火](会員) / 10月31日[日](一般)
	4・5・6月	3月2日[水](会員) / 3月6日[日](一般)

定期会員券

毎回同じ座席をご用意。1回券と比べて1公演あたり10~30%お得です! (割引率は公演や券種によって異なります)

※ Aプログラム、CプログラムはNHKホール改修工事に伴い、会場をNHKホールから東京芸術劇場(池袋)に移して「池袋Aプログラム」「池袋Cプログラム」として行います

※ Bプログラムはサントリーホール改修工事に伴い、2022年4月公演を休止するため全8回となります。シーズン会員券の販売はございません

※ 池袋Cプログラムは2021-22シーズンから会員券の料金を変更させていただきます

発売開始日	年間会員券、シーズン会員券(Autumn)	7月15日[木](会員) / 7月18日[日](一般)
	シーズン会員券(Winter)	10月15日[金](会員) / 10月21日[木](一般)
	シーズン会員券(Spring)	2月22日[火](会員) / 2月25日[金](一般)

料金(税込)

券種	S	A	B	C	D	D(ユースチケット)
年間会員券(9回) [池袋A]	¥65,970 (¥7,330)	¥56,610 (¥6,290)	¥44,010 (¥4,890)	¥35,730 (¥3,970)	¥27,540 (¥3,060)	¥9,000 (¥1,000)
年間会員券(8回) [B]	¥58,640 (¥7,330)	¥50,320 (¥6,290)	¥39,120 (¥4,890)	¥31,760 (¥3,970)	¥24,480 (¥3,060)	¥8,000 (¥1,000)
年間会員券(9回) [池袋C]	¥56,610 (¥6,290)	¥49,725 (¥5,525)	¥39,780 (¥4,420)	¥32,130 (¥3,570)	¥24,480 (¥2,720)	¥8,820 (¥980)

券種	S	A	B	C	D	D(ユースチケット)
シーズン会員券(3回) [池袋A]	¥23,820 (¥7,940)	¥19,860 (¥6,620)	¥15,570 (¥5,190)	¥12,540 (¥4,180)	¥9,480 (¥3,160)	¥3,900 (¥1,300)
シーズン会員券(3回) [池袋C]	¥19,890 (¥6,630)	¥17,520 (¥5,840)	¥14,010 (¥4,670)	¥11,250 (¥3,750)	¥8,550 (¥2,850)	¥3,780 (¥1,260)

※()内は1公演あたりの単価

WEBセレクト3+

お好きな公演を3つ以上セレクトすると、1回券がお得になります。Autumn(9~11月)、Winter(12~2月)、Spring(4~6月)の各シーズン内の公演(9プログラム18公演)のうち、3公演以上まとめて購入すると、1回券の一般料金より約8%割引いたします。WEBチケットN響のみでの販売となります。1回券発売日からお申し込みいただけます。

ユースチケット

25歳以下の方へのお得なチケットです。N響ガイドのみの販売となります。25歳以下の証明となるものをご提示いただけます。

お問い合わせ

N響ガイド | TEL 03-5793-8161

※営業日、営業時間はN響ホームページをご覧ください。

www.nhkso.or.jp

Please follow us on



4/10 **土** 6:00pm
4/11 **日** 2:00pm

サントリーホール

Suntory Hall

April
10(Sat) 6:00pm
11(Sun) 2:00pm

指揮	三ツ橋敬子 Keiko Mitsuhashi, conductor
ソプラノ	森谷真理★ Mari Moriya, soprano★
テノール	福井 敬◆ Kei Fukui, tenor◆
コンサートマスター	篠崎史紀 Fuminori Maro Shinozaki, concertmaster

モーツァルト
歌劇「魔笛」
—序曲[7']
—タミーノのアリア「なんと美しい絵姿」◆
[5']
—パミーナのアリア
「愛の喜びは露と消え」★[4']

モーツァルト
歌劇「コシ・ファン・トゥッテ」
—フィオルディリージとフェランドの二重
唱「夫の腕の中に」★◆[7']

モーツァルト
歌劇「イドメネオ」バレエ音楽 K. 367
—「パ・スル(1人の踊り)」[5']

Wolfgang Amadeus Mozart
(1756–1791)
“Die Zauberflöte,” opera K. 620 –
Overture, Aria “Dies Bildnis ist
bezaubernd schön” (Tamino)◆,
Aria “Ach, ich fühl’s, es ist
verschwunden” (Pamina)★

Wolfgang Amadeus Mozart
“Così fan tutte,” opera K. 588
– Duetto “Fra gli amplessi”
(Fiordiligi/ Ferrando)★◆

Wolfgang Amadeus Mozart
“Idomeneo,” ballet K. 367–
“Pas seul”

モーツァルト

歌劇「イドメネオ」K. 366

—イドメネオのアリア「海の外なる胸の内の海は」◆[7']

—エレットラのレチタティーヴォとアリア「ああ私の切望、怒り」～「血を分けたオRESTEよ」* [7']

—休憩(20分)—

ヴェルディ

歌劇「シチリア島の夕べの祈り」

—バレエ音楽「春」[8']

マスネ

歌劇「ウェルテル」

—オシアン之歌(ウェルテルのアリア)「春風よ、なぜ私を目ごますのか」◆[3']

マスネ

歌劇「タイス」

—鏡の歌(タイスのアリア)「私を美しいと言っておくれ」* [7']

—タイスの冥想曲[5']

プッチーニ

歌劇「蝶々夫人」

—ピンカートンと蝶々夫人による愛の二重唱「夕暮れは迫り」*◆[15']

Wolfgang Amadeus Mozart

“Idomeneo,” opera K. 366

– Aria “Fuor del mar ho un mar in seno” (Idomeneo)◆

Recitative and Aria “Oh smania! oh furie!” ~ “D’Oreste, d’Aiace Ho in seno i tormenti” (Elettra)*

— intermission (20 minutes) —

Giuseppe Verdi (1813–1901)

“I vespri siciliani,” opera

– “La Primavera,” ballet

Jules Massenet (1842–1912)

“Werther,” opera

– Lied d’Ossian “Pourquoi me réveiller, ô souffle du printemps?” (Werther)◆

Jules Massenet

“Thaïs,” opera

– Air de miroir “O mon miroir fidèle, dis-moi que je suis belle” (Thaïs)*, “Méditation”

Giacomo Puccini (1858–1924)

“Madama Butterfly,” opera

– Duetto “Viene la sera” (Pinkerton, Madama Butterfly)*◆

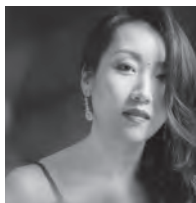
Artist Profiles

三ツ橋敬子 (指揮)



東京都出身。小澤征爾、小林研一郎、ジャンルイジ・ジェルメッティ、エルヴィン・アツツェル、ハンス・マルティン・シュナイト、湯浅勇治、松尾葉子、高階正光に師事。東京藝術大学及び同大学院修了。イタリアのキジアーナ音楽院で特別奨学金給付生として学び、最優秀学生に贈られる名誉ディプロマを授与された。2005年からはウィーン国立音楽大学で研鑽^{けんさん}を積む。翌年トスカーナ管弦楽団を指揮してヨーロッパ・デビューを果たし、2007年にはミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ交響楽団でオペラ・デビュー。2008年、ペドロッティ国際指揮者コンクールで優勝。2009年より小澤征爾音楽塾とサイトウ・キネン・フェスティバル松本で小澤征爾のアシスタントを務め、2011年の小澤征爾音楽塾中国公演では、小澤征爾の代役として指揮。2010年、トスカニーニ国際指揮者コンクールで準優勝し、同コンクールで女性初の入賞者となる。2016年8月、「サントリーホール30周年記念 国際作曲委嘱作品再演シリーズ」で、タン・ドゥンと共に武満徹《ジェモー（双子座）》を指揮。2009年『ニュースウィーク日本版』で「世界が尊敬する日本人100人」に選出。2013年第12回齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。2016年から、神奈川県立音楽堂にて「三ツ橋敬子の夏休みオーケストラ!」がスタート。子供たちに多彩な音楽体験を届ける企画内容が好評を得ている。N響を指揮するのは今回が初めて。

森谷真理 (ソプラノ)



栃木県小山市出身。武蔵野音楽大学声楽科を経て、同大学院声楽専攻を首席で修了。その後、ニューヨークのマネス音楽院プロフェッショナル・スタディーズ・コースを修了。ヴェロニカ・ダン国際声楽コンクールおよびチャールズ・A. リーナム声楽コンクールで優勝するなど、受賞歴多数。フロリダ州のパーム・ビーチ・オペラでデビューし、以後欧米の主要歌劇場で、バロックから同時代の作品まで、幅広いレパートリーを歌う。2006年には《魔笛》夜の女王役で、メトロポリタン歌劇場（レヴァイン指揮）に初出演。2010年から2014年まで、オーストリア・リンツ州立劇場の専属歌手として活躍。2014年にびわ湖ホール《リゴレット》ジルダ役で日本デビューしてからは、全国各地のオペラ・プロダクションに参加し、国内の主要オーケストラと共演を重ねるなど、活躍の場を国内にも広げている。2019年には「天皇陛下御即位を祝う国民祭典」で《君が代》を歌った。輝かしさと深みを兼ね備えた声と確かな歌唱技術で際立つ、今日本でもっとも注目を集めるソプラノ歌手のひとり。二期会会員。N響との共演は今回が初めて。

福井 敬(テノール)



岩手県奥州市出身。国立音楽大学および同大学院修了。文化庁在外派遣等によりイタリアで学ぶ。イタリア声楽コンクール・ミラノ大賞(第1位)、芸術選奨文部大臣賞新人賞、五島記念文化賞オペラ新人賞、ジロー・オペラ新人賞及びオペラ賞、出光音楽賞、エクソンモービル音楽賞本賞など受賞多数。2015年には《ドン・カルロ》での優れた歌唱、演技により第65回芸術選奨文部科学大臣賞を与えられた。

《ボエーム》ロドルフォ役でのデビュー以来、古典から現代、日本の作品まで、手掛けたオペラは60を超え、《フィデリオ》《ローエングリン》《ドン・カルロ》《オテロ》《カルメン》《サムソンとデリラ》などで主要キャストを担う。特に《トゥーランドット》カラフは当たり役として知られ、さまざまなプロダクションで演じている。コンサートの分野でも《第9》や宗教曲のソリストとして内外のオーケストラとも数多く共演している。N響の舞台に初めて立ったのは、若杉弘の指揮による1989年のオネゲル《オラトリオ「火刑台上のジャンヌ・ダルク」》。以後出演を重ね、「N響第9」への出演公演数は28を数える。二期会会員。

Program Notes | 加藤浩子

春、4月。花咲き大気薫り、自然のエネルギー満ちるこの時に耳を傾けるのに相応しい楽器、それは「人の声」ではないだろうか。

生身の肉体からほとばしる「声」には、楽器にも増して「一期一会」の魅力がある。そして「声」は、人間のあらゆる感情を映し出す鏡でもある。オペラは、そんな「声」によるドラマだ。

本日のプログラムには、オペラのとびきりの名作から選ばれた、「春」にちなんだ名曲が並んでいる。演奏にあたるのは、歌い盛りの歌手からオペラの名マエストラまで、今の日本を代表する名手たち。「声」に酔いしれる快楽を、たっぷり味わえるひとときになることだろう。

モーツァルト

歌劇「魔笛」

—序曲

—タミーノのアリア「なんと美しい絵姿」

—パミーナのアリア「愛の喜びは露と消え」

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト(1756~1791)のオペラには、フランス革命へと至る時代の中で、オペラの聴衆が王侯貴族から市民階級へと移ってゆく過程が投影

されている。モーツァルトは誰が聴くのかを意識しつつ、普遍的な人間の姿を映し出すオペラを書いた。

世を去る2か月ちょっと前の1791年9月30日に初演された《魔笛》は、ウィーンの民衆劇場のために書かれた「ジングシュピール(歌芝居)」である。王子のタミーノと王女のパミーナが試練を乗り越えて結ばれる物語だが、モーツァルトも心酔していた「フリーメーソン結社」の教訓や儀式を盛り込んだ作品でもある。だがどの曲もキャラが立って聴きやすく、ミュージカルのように間口が広いのは、聴衆である庶民を考えてのことかもしれない。

序曲は、フリーメーソンの調性とされる変ホ長調で書かれた明朗な音楽。堂々とした序奏に、フーガの形式も取り込んだ快活な主部が続く。

〈なんと美しい絵姿〉(「肖像のアリア」とも呼ばれる)は、夜の女王の娘パミーナの肖像を見せられて一目で恋に落ちたタミーノが、彼女への想いを歌うロマンチックなアリア。絵姿に恋する設定は、民衆劇ではおなじみのパターンだった。

パミーナのアリア〈愛の喜びは露と消え〉は、タミーノが「沈黙の試練」を受けていることを知らないパミーナが、彼の心が離れたと誤解して歌う哀切なアリア。愛が得られないなら「死」を望むという一途さは、19世紀ロマン派オペラのヒロインの先駆けでもある。

作曲年代	1791年春から同年9月28日
初演	1791年9月30日、ウィーン、アウフ・デア・ヴィーデン劇場
楽器編成	[序曲]フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、トロンボーン3、ティンパニ2、弦楽
	[なんと美しい絵姿]クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、弦楽、テノール・ソロ
	[愛の喜びは露と消え]フルート1、オーボエ1、ファゴット1、弦楽、ソプラノ・ソロ

歌詞対訳

訳◎加藤浩子 | Translation: Hiroko Kato

モーツァルト 歌劇「魔笛」

—タミーノのアリア「なんと美しい絵姿」

—パミーナのアリア「愛の喜びは露と消え」

Wolfgang Amadeus Mozart “Die Zauberflöte,” opera K. 620

Aria “Dies Bildnis ist bezaubernd schön”

TAMINO

Dies Bildnis ist bezaubernd schön,
wie noch kein Auge je gesehen!

Ich fühl’ es, wie dies Götterbild
mein Herz mit neuer Regung füllt.

Dies etwas kann ich zwar nicht nennen,
doch fühl’ ich’s hier wie Feuer brennen.

アリア「なんと美しい絵姿」

タミーノ

なんと魅力的なこの絵姿

こんな絵姿は きっと誰も見たことがない
神々しいまでに美しいこの姿に

これまで知らなかった感動が心を満たす
この気持ちをなんと呼べばいいのだろう

炎が燃えているようだ

Soll die Empfindung Liebe sein?
 Ja, ja, die Liebe ist's allein,
 die Liebe, die Liebe, die Liebe ist's allein!
 O, wenn ich sie nur finden könnte!
 O, wenn sie doch schon vor mir stände!
 Ich würde, warm und rein, was würde ich?
 Ich würde sie voll Entzücken
 an diesen heissen Busen drücken,
 und ewig wäre sie dann mein!

Arie "Ach, ich fühl's, es ist verschwunden"

PAMINA

Ach, ich fühl's, es ist verschwunden,
 ewig hin der Liebe Glück!
 Nimmer kommt ihr, Wonnestunden,
 meinem Herzen mehr zurück.
 Sieh, Tamino, diese Tränen
 fließen, Trauter,
 dir allein, dir allein!
 Fühlst du nicht der Liebe Sehnen,
 so wird Ruhe im Tode sein.

これが恋というものか?
 そうだ! これこそが恋なのだ
 恋、恋、これこそが恋!
 ああ、もし彼女を見つけ出せたら!
 ああ、もし彼女が僕の前に現れてくれたら!
 僕は熱くなり、純粹になり、それから?
 僕は恍惚となり
 彼女を僕の熱い胸に抱き寄せるだろう
 そして彼女は、永遠に僕のものになるだろう!

アリア「愛の喜びは露と消え」

パミーナ

ああ、私にはわかる
 恋の幸せが永遠に消えてしまったことが
 素晴らしい喜びよ、お前が
 もうこの心に2度と戻ってこないことが
 見て、タミーノ、この涙を
 愛するあなたのためだけに、
 あなたのためだけに流れるこの涙を!
 あなたがこの愛の憧れを感じられないなら
 私は死に願うでしょう

モーツァルト

歌劇「コシ・ファン・トゥッテ」

—フィオルディリージとフェランドの二重唱「夫の腕の中に」

ウィーンの宮廷劇場で1790年に初演された《コシ・ファン・トゥッテ》は、イタリア語の喜劇オペラ(オペラ・ブッファ)。タイトルの意味は「女はみんなこうしたもの」。老哲学者にそそのかされて恋人たちの貞操を試そうとした2人の若者が、あっという間に裏切られて地団駄を踏むが、哲学者に諭されて渋々仲直りをする物語だ。恋人交換の物語は当時の流行でもあり、また口説き口説かれる恋愛遊戯は、本作の聴衆である宮廷貴族の世界でもあった。

〈夫の腕の中に〉は、変装して友人の恋人を口説くフェランドと陥落するフィオルディリー

ジの二重唱。激情、戸惑い、説得、そして陥落……その直後、心が一致した2人は、声を重ねて同じ旋律を歌い出す。残酷だが美しい「変心」の一部始終を克明に描き尽くす名曲である。

作曲年代	1789年秋から1790年1月
初演	1790年1月26日、ウィーン、宮廷劇場
楽器編成	オーボエ2、ファゴット2、ホルン2、ソプラノ・ソロ、弦楽、テノール・ソロ

歌詞対訳

訳◎加藤浩子 | Translation: Hiroko Kato

モーツァルト 歌劇「コシ・ファン・トゥッテ」

—フィオルディリージとフェランドの二重唱「夫の腕の中に」

Wolfgang Amadeus Mozart “Cosi fan tutte,” opera K. 588

Duetto “Fra gli amplessi”

FIORDILIGI

Fra gli amplessi in pochi istanti
giungerò del fido sposo,
sconosciuta a lui davanti
in quest’abito verrò.
Oh, che gioia il suo bel core
proverà nel ravvisarmi!

FERRANDO

Ed intanto di dolore
meschinello io mi morirò!

FIORDILIGI

Cosa veggio, son tradita,
deh, partite!

FERRANDO

Ah no, mia vita:
(Prende una spada e la sfodera.)
con quel ferro di tua mano
questo cor tu ferirai,
e se forza oh Dio non hai,
io la man ti reggerò.

二重唱「夫の腕の中に」

フィオルディリージ

もうすぐ抱かれるの
誠実な夫の腕に
この服装で
突然彼の前に現れるのよ
私だと分かったら
あの方の誠実な心はどれほど喜ぶことでしょう!

フェランド

そんなことになったら
哀れな私は苦しみのあまり死んでしまいます!

フィオルディリージ

なぜここに、ああ、裏切られたわ、
どうか出ていって!

フェランド

できません、あなたは私の命
(剣を取り、鞘から抜く)
この剣を取り、あなたの手で
私の心臓を突き刺してください
もしその勇気をお持ちでなければ
私がこの手を添えましょう

FIORDILIGI
Sorgi, sorgi...

FERRANDO
Invan lo credi.

FIORDILIGI
Per pietà, da me che chiedi?

FERRANDO
Il tuo cor, o la mia morte.

FIORDILIGI
Ah, non son, non son più forte,
Dei, consiglio!

FERRANDO
(le prende la mano e gliela bacia)
Cedi, cara!

FERRANDO
Volgi a me pietoso il ciglio,
in me sol trovar tu puoi
sposo, amante, e più se vuoi,
idol mio, più non tardar.

FIORDILIGI
Giusto ciel! Crudel! hai vinto.
Fa di me quel che ti par.
(Don Alfonso trattiene Guglielmo che vorria
uscire.)

FIORDILIGI E FERRANDO
Abbracciamci, o caro bene,
e un conforto a tante pene
sia languir di dolce affetto,
di diletto sospirar!

フィオルディリージ
立って、お立ちください……

フェランド
いいえ、できません

フィオルディリージ
お願いです、私に何をお望みなのです？

フェランド
あなたの心か、さもなくば私の命を

フィオルディリージ
ああ、もう耐えられない
神様、お助けください

フェランド
(彼女の手を取り、口づけて)
降参なさい、愛しい人

フェランド
あなたのまなざしを
哀れな私に向けてください
私だけがあなたの
夫、愛人、そしてそれ以上のものになれるのです
憧れの人よ、もうためらわないで

フィオルディリージ
ああ、もうだめ！ 残酷な方！ あなたの勝ちです
どうぞ、お好きなように
(押し入ろうとしたグリエルモを、ドン・アルフォンソが押しとどめる)

フィオルディリージとフェランド
抱き合いましょう、愛しい人
これだけ苦しんだご褒美に
甘い愛に、
喜びのため息に浸りましょう

モーツァルト

歌劇「イドメネオ」

—バレー音楽K. 367「パ・スル(1人の踊り)」

—イドメネオのアリア「海の外なる胸の内の海は」

—エレットラのレチタティーヴォとアリア「ああ私の切望、怒り」～
「血を分けたオレステよ」

1781年に初演された《イドメネオ》は、バイエルン選帝侯カール・テオドールの注文で書かれた、古典的なイタリア語オペラ(オペラ・セリア、正歌劇)である。物語はギリシャ神話に基づくもので、海神の怒りを買ったクレタ島の王イドメネオの葛藤を描く。フランス語オペラの翻案であるため、フランス語オペラにつきもの(後述)のバレエも入れられた。

〈パ・スル〉は、全曲の最後、王子イダマンテの戴冠式の場面で演奏される5曲からなるバレー音楽の2曲目で、バイエルン宮廷の有名なダンサーであるル・グランのためのソロ舞曲である。「ラルゴ」「アレグレット」「ピウ・アレグロ」と次第にテンポを上げてゆく構成が見事だ。

〈海の外なる胸の内の海は〉は、海神の生贄になる危機を避けるために息子のイダマンテを他国へ逃そうとしているイドメネオが、囚われの王女イリアとイダマンテが恋仲であることに気づき、自らの苦しみと海神への怒りを胸の中の海にたとえて歌うアリア。当時の大アリアの定型であるダ・カーポ形式(中間部を挟んで前半部分が繰り返される形式)で書かれ、これも大アリアに必須だった華麗なコロラトゥーラもたっぷり盛り込まれる一方、イドメネオの怒りや葛藤も克明に描かれた名曲である。

〈ああ私の切望、怒り〉～〈血を分けたオレステよ〉は、イダマンテへの想いが叶わなかったアルゴスの王女エレットラが怒りと悲しみをぶちまけるアリア。荒れ狂うオーケストラをバックに、怒りの炎が燃え上がる。息も絶え絶えのエレットラの心を伝えるシンコーションも効果的だ。

作曲年代	1780年秋から1781年1月
初演	1781年1月29日、ミュンヘン、ミュンヘン宮廷劇場
楽器編成	[パ・スル]フルート2、オーボエ2、ホルン2、トランペット2、ティンパニ1、弦楽 [海の外なる胸の内の海は]フルート2、オーボエ2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、ティンパニ1、弦楽、テノール・ソロ [ああ私の切望、怒り／血を分けたオレステよ]フルート2、オーボエ2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、ティンパニ1、弦楽、ソプラノ・ソロ

歌詞対訳

訳◎加藤浩子 | Translation: Hiroko Kato

モーツァルト 歌劇「イドメネオ」K. 366

—イドメネオのアリア「海の外なる胸の内の海は」

—エレットラのレチタティーヴォとアリア「ああ私の切望、怒り」

～「血を分けたオレステよ」

Wolfgang Amadeus Mozart “Idomeneo,” opera K. 366

Aria “Fuor del mar ho un mar in seno”

IDOMENEO

Fuor del mar ho un mar in seno,
che del primo è più funesto.
E Nettuno ancor in questo
mai non cessa minacciar.

Fiero Nume! dimmi almeno.
Se al naufragio è sì vicino
il mio cor, qual rio destino
or gli vieta il naufragar.

Recitative and Aria “Oh smania! oh furie!”
—“D'Oreste, d'Aiace Ho in seno i tormenti”

ELETTRA

Oh smania! oh furie!
Oh disperata Elettra!
Addio amor, addio speme!
Ah, il cor nel seno già m'ardono
l'Eumenidi spietate.
Misera, a che m'arresto?
Sarò in queste contrade
della gioia e trionfi spettatrice dolente?
Vedrò Idamante alla rivale in braccio,
e dall'uno, e dall'altra mostrarmi a dito?
Ah no; il germano Oreste
ne' cupi abissi io vuo' seguir.
Ombra infelice!
Lo spirito mio accogli, or or compagna

アリア「海の外なる胸の内の海は」

イドメネオ

海からは逃れたが
胸の内にもうひとつの海がある
ほんものの海よりもっと凄まじく
海神が絶えずわしを脅す海が

恐るべき神よ! せめてわしに告げてほしい
もし破滅が近づいているなら
この心のどんな悪しき運命が
それを妨げているのか

レチタティーヴォとアリア「ああ私の切望、怒り」
～「血を分けたオレステよ」

エレットラ

ああ、気が狂いそう! ああ、なんという怒り!
ああ、絶望したエレットラ!
さようなら愛よ、さようなら希望よ!
ああ、この胸の内の心には
残酷なエウメニデスが燃え上がっている
惨めな私、なぜここにいるの?
彼らの喜びと勝利を
苦しみながら見守るの?
イダマンテが恋敵の腕に抱かれ
2人が私を指さすのを目撃するの?
おお、嫌だ!
弟のオレステに従って地獄へ落ちるわ
不幸な亡霊よ!
私の魂を受け入れて、寄り添って

m'avrai là nell'inferno
a sempiterni guai, al pianto eterno.

D'Oreste, d'Aiace
ho in seno i tormenti,
d'Aletto la face
già morte mi da.
Squarciatemi il core,
ceraste, serpenti,
o un ferro il dolore
in me finirà.

地獄で待っていて
終わりなき苦しみ、永遠の嘆き

オRESTEとアイアスの苦しみが
この胸^{さいな}を苛む
アレクトーの松明^{たいまつ}が
私の息の根を止める
私の心を引き裂いて
マムシよ、蛇よ
さもなければ剣よ
この苦しみを終わらせて

ヴェルディ

歌劇「シチリア島の夕べの祈り」 —バレエ音楽「春」

フランスでは、オペラは独自の発展を遂げた。フランス語によるオペラは17世紀に誕生するが、バレエを好むフランス人の趣味により、王家に認められた格式の高いオペラにはバレエが組み込まれた。その伝統はフランス革命を経た19世紀に市民階級がオペラを支えるようになっても続き、パリで一番格式が高いオペラ座では、歴史物語にバレエを組み込んだ「グランド・オペラ」が人気を博した。

そのオペラ座で1855年に初演された《シチリア島の夕べの祈り》は、19世紀のイタリア・オペラの大家ジュゼッペ・ヴェルディ(1813~1901)によるグランド・オペラの大作。フランス占領下のシチリア、パレルモで1282年に起こった「シチリア島の夕べの祈り」と呼ばれる民衆の蜂起^{ほうき}事件を背景に、親子や男女や祖国への愛憎が入り乱れる壮大な物語だ。

〈春〉は、全体の半ばである第3幕の宴会の場面で踊られるバレエ音楽〈四季〉の第2曲。冬の氷を溶かす西風の戯れが、フルートやクラリネットの美しいソロに導かれて展開してゆく。

作曲年代	1854~1855年
初演	1855年6月13日、パリ、オペラ座
楽器編成	フルート1、ピッコロ1、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、ホルンネット2、トロンボーン3、チンバソン1、ティンパニ1、大太鼓、シンバル、ハーブ1、弦楽

マスネ

歌劇「ウェルテル」

—オシアンおうえいの歌(ウェルテルのアリア)「春風よ、なぜ私を目ざますのか」

19世紀後半になるとフランス・オペラも多様化し、風刺精神旺盛なオペレッタや、文学作品に基づくより身近な題材によるロマンティックなオペラも好まれるようになる。ジュール・マスネ(1842~1912)は、そんな時代のフランス・オペラを代表する人気作曲家で、甘く洗練された音楽を駆使して、歴史劇、神秘劇からメルヘン、リアリズム・オペラまで、幅広いジャンルに名作を残した。ブッチーニもマスネから大きな影響を受けており、出世作《マン・レスコー》は、マスネの《マン》を意識して書かれている。

1892年にウィーンの宮廷劇場で初演された《ウェルテル》は、ドイツの文豪ゲーテの小説『若きウェルテルの悩み』(1774年)に基づくマスネの代表作。恋に破れて死を選ぶ青年の内面を描いたゲーテ作品は大ヒットし、何人もの作曲家によってオペラ化されたが、今日レパートリーに残っているのはマスネの《ウェルテル》だけである。

「オシアンおうえいの歌」の通称で知られるウェルテルのアリア〈春風よ、なぜ私を目覚ますのか〉は、人妻になった恋人シャルロットと再会したウェルテルが、伝説の詩人オシアンの詩を読みながら、その内容にシャルロットへの想いを重ね合わせて情熱をほとばしらせるアリア。テノールのために書かれたフランス・オペラのアリアの中でも、最も甘美で最も心をつアリアのひとつである。

作曲年代	1885~1887年
初演	1892年2月16日、ウィーン、ウィーン宮廷劇場
楽器編成	フルート2、オーボエ1、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トロンボーン3、チューバ1、ティンパニ1、ハープ1、弦楽、テノール・ソロ

訳◎遠山菜穂美 | Translation: Naomi Toyama

歌詞対訳

マスネ 歌劇「ウェルテル」
—オシアンおうえいの歌(ウェルテルのアリア)「春風よ、なぜ私を目ざますのか」
Jules Massenet “Werther,” opera

Air “Pourquoi me réveiller, ô souffle du printemps?”

WERTHER

Toute mon âme est là!
“Pourquoi me réveiller,
ô souffle du printemps?
Pourquoi me réveiller?”

アリア「春風よ、なぜ私を目ざますのか」

ウェルテル
僕の心のすべてがその詩にあるのです!
「なぜ私を目ざますのか、
春風よ?
なぜ私を目ざますのか?

Sur mon front je sens tes caresses,
et pourtant bien proche est le temps
des orages et des tristesses!

Pourquoi me réveiller,
ô souffle du printemps?

Demain dans le vallon*
viendra le voyageur

se souvenant de ma gloire première.

Et ses yeux vainement
chercheront ma splendeur.

Ils ne trouveront plus que deuil
et que misère!

Hélas! Pourquoi me réveiller,
ô souffle du printemps!"

★ vallon | 古代ギリシャの詩神(ミュース)が住む谷間

私の額におまえが優しく触れるのを感じる
それなのに嵐と悲しみの時は
もうそこまで来ている!

なぜ私を目ざますのか、
春風よ?

明日は聖なる谷*に
旅人が訪れ

私の初めの功績を思い出すことだろう

彼の眼は私の栄光を探し求めるが

それもむなしく

もはや深い悲しみと

痛々しさしか見出せないだろう!

ああ! なぜ私を目ざますのか、
春風よ!"

マスネ

歌劇「タイス」

—鏡の歌(タイスのアリア)「私を美しいと言っておくれ」

—タイスの冥想曲

1894年にパリのオペラ座で初演された《タイス》は、アナトール・フランスの『舞姫タイス』(1890年)に基づき、フランス・オペラで好まれた、男性を狂わせる「運命の女(ファム・ファタル)」をヒロインに据えた官能的な傑作。ビザンチン帝国支配下のエジプトを舞台に、高級娼婦タイスの改心に情熱を注いだ高僧アタナエルが、彼女への欲望を自覚して煩悶する。「叙情劇(コメディ・リリック)」と定義されているが、19世紀を席卷した異国趣味や歴史的な時代設定、バレエの挿入など、グランド・オペラの系譜に連なる作品でもある。

「鏡の歌」の通称で知られるタイスのアリア〈私を美しいと言っておくれ〉は、際立つ美貌であらゆる男性を虜にするタイスが、若さと美貌が衰えることを恐れて歌うアリア。音域もデュナーミクも激しく揺れ動き、タイスの惑いを雄弁に伝える。

〈タイスの冥想曲〉は、高僧アタナエルから生活を改めるよう説得されたタイスが改心を決意する心模様を描いた1曲で、第2幕第1場から第2場への間奏曲として演奏される。ヴァイオリンが奏でる甘美なメロディは、聖と俗との葛藤を暗示するテーマとして、曲中でたびたび回帰する。そのメロディの美しさのために、オーケストラ曲やヴァイオリン独奏曲としてもよく演奏されている。

作曲年代	1892~1893年
初演	1894年3月16日、パリ、オペラ座
楽器編成	[私を美しいと言っておくれ]フルート2、オーボエ2、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、ティンパニ1、ハープ1、弦楽、ソプラノ・ソロ [タイスの瞑想曲]フルート2、オーボエ1、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット2、バス・クラリネット1、ファゴット2、ホルン4、ティンパニ1、ハープ1、ヴァイオリン・ソロ(本公演ではコンサートマスターが演奏)、弦楽

歌詞対訳

訳◎遠山菜穂美 | Translation: Naomi Toyama

マスネ 歌劇「タイス」

—鏡の歌(タイスのアリア)「私を美しいと言っておくれ」

Jules Massenet “Thaïs,” opera

Air “O mon miroir fidèle, dis-moi que je suis belle”

THAÏS

Ah! je suis seule, seule, enfin!
Tous ces hommes ne sont
qu'indifférence et que brutalité.
Les femmes sont méchantes...
et les heures pesantes...
J'ai l'âme vide...
Où trouver le repos?
Et comment fixer le bonheur?
(rêveuse, elle prend un miroir
et s'y contemple)
Ô mon miroir fidèle, rassure-moi?
(avec charme)
Dis-moi que je suis belle
et que je serai belle éternellement!
Éternellement! Que rien ne flétrira les roses
de mes lèvres,
que rien ne ternira
l'or pur de mes cheveux!
Dis-le moi! Dis-le moi!
Dis-moi que je suis belle
(avec emportement)
et que je serai belle éternellement!
Éternellement! Ah! je serai belle

アリア「私を美しいと言っておくれ」

タイス

ああ! ひとりに、やっとひとりになれた!
ここの男たちは皆、
薄情で荒々しい人ばかり
女たちは意地が悪い……
そして時は重苦しい……
私の心は空っぽ……
どこに安らぎを見つけたらいいの?
どうしたら幸せを^{とど}留めておけるの?
(放心して、タイスは鏡を手に取り、
鏡のなかの自分をみつめる)
おお私の誠実な鏡よ、私を安心させてくれる?
(魅力的に)
私を美しいと言っておくれ
永遠に美しいと!
永遠に! 何ものも私の^{ばら}薔薇のような唇を
しおれさせないと、
何ものも私の純金のような髪の輝きを
失わせないと!
言っておくれ! 言っておくれ!
私を美しいと
(激昂して)
私が永遠に美しいと言っておくれ!
永遠に! ああ! 私が

(avec élan et ivresse)

éternellement!

(se dressant et prêtant l'oreille comme si une voix

lui parlait dans l'ombre.)

Ah! Tais-toi, voix impitoyable,

voix qui me dis:

(sourdement)

“Thaïs, tu vieilliras!

Thaïs, tu vieilliras!

Un jour, ainsi, Thaïs

(avec effarement)

ne serait plus Thaïs!”

(se calmant peu à peu)

Non! Non! je n'y puis croire,

(s'adressant à Vénus)

Toi Vénus, réponds-moi de ma beauté!

Vénus, réponds-moi de son éternité!

(comme un murmure et avec dévotion)

Vénus, invisible et présente!

Vénus, enchantement de l'ombre!

Vénus!

Réponds-moi! Réponds-moi!

Dis-moi que je suis belle

et que je serai belle éternellement!

Éternellement! Que rien ne flétrira les roses

de mes lèvres,

que rien ne ternira

l'or pur de mes cheveux!

Dis-le moi! Dis-le moi!

Dis-moi que je suis belle

(avec emportement)

et que je serai belle éternellement!

Éternellement!

Ah! je serai belle

(avec élan et ivresse)

éternellement!

(apercevant Athanaël qui est entré silencieusement

et s'est arrêté sur le seuil, avec charme)

(勢いよく、陶酔して)

永遠に美しい!

(すっと立ち上がり、耳を澄ます。まるでひとつの声か

暗闇の中から語りかけるかのように)

ああ! お黙り、無情な声よ、

その声は私に言う

(かすかな声で)

「タイス、おまえは年を取るだろう!

タイス、おまえは年を取るだろう!

だから、いつの日か、タイスは

(動揺して)

もうタイスではなくなるだろう!」

(少しずつ鎮まって)

違うわ! 違うわ! そんなこと信じられない、

(ヴィーナスに向かって)

ヴィーナス、私の美しさを約束して!

ヴィーナス、永遠に美しいと約束して!

(つぶやくように、崇拜して)

ヴィーナス、見えないけれど、そこにいる!

ヴィーナス、秘密の呪文!

ヴィーナス!

約束して! 約束して!

私を美しいと言っておくれ

永遠に美しい!

永遠に! 何もかも私の^{びら}薔薇のような唇を

しおれさせないと、

何もかも私の純金のような髪の輝きを

失わせないと!

言うておくれ! 言うておくれ!

私を美しいと言っておくれ

(激昂して)

私は永遠に美しい!

永遠に!

ああ! 私は

(勢いよく、陶酔して)

永遠に美しい!

(タイスはアタナエルが音もなく現れ

魅力的な姿で戸口にたたずむのを見つける)

プッチーニ

歌劇「蝶々夫人」

—ピンカートンと蝶々夫人による愛の二重唱「夕暮れは迫り」

ジャコモ・プッチーニ(1858~1924)は、世紀末から20世紀初めのイタリア・オペラをリードした作曲家。甘美にして演劇的な音楽と、ツボを押さえ、泣ける物語が合体したプッチーニのオペラは感情移入しやすく、《ボエーム》《トスカ》《トゥーランドット》といった代表作は今なお高い人気を誇っている。

《蝶々夫人》(1904年初演)は、明治時代の長崎を舞台に、外国人の軍人相手に行われていた一時的な「日本式結婚」がもたらす悲劇を描いた名作。ヨーロッパで流行していた「ジャポニスム(日本趣味)」の薫りが濃厚なオペラで、《さくらさくら》《君が代》など日本の旋律もふんだんに使われている。

《夕暮れは迫り》は、「結婚式」をあげたばかりのアメリカ海軍軍人ピンカートンと芸者の蝶々さんが、初夜を前に歌う愛の二重唱。蝶々さんの身支度に始まり、欲望を募らせるピンカートン、幸せにひたる蝶々さんと、2人の気持ちに合わせて音楽は徐々に高ぶるが、あくまでも遊びのピンカートンと、真剣に恋してしまった蝶々さんの食い違いも滲む。蝶々さんに絶縁を言い渡した叔父の「罵りの動機」もひらめき、悲劇を予告する。最後は「愛の動機」が歌い上げられ、甘美なクライマックスを築く。

作曲年代	1901年9月から1903年12月27日
初演	1904年2月17日、ミラノ、スカラ座
楽器編成	フルート3(ピッコロ1)、オーボエ2、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット2、バス・クラリネット1、ファゴット2、ホルン4、トランペット3、トロンボーン3、チンバソン1、ティンパニ1、大太鼓、シンバル、グロッケンシュピール、タムタム・ジャポネーゼ、ハーブ1、弦楽、ソプラノ・ソロ、テノール・ソロ

訳◎加藤浩子 | Translation: Hiroko Kato

歌詞対訳

プッチーニ 歌劇「蝶々夫人」

—ピンカートンと蝶々夫人による愛の二重唱「夕暮れは迫り」

Giacomo Puccini “Madama Butterfly,” opera

Duetto “Viene la sera”

PINKERTON

Viene la sera.

BUTTERFLY

...e l'ombra e la quiete.

二重唱「夕暮れは迫り」

ピンカートン

日が暮れてきた

蝶々夫人

暮れてきて、静かですわ

PINKERTON

E sei qui sola.

BUTTERFLY

Sola e rinnegata! Rinnegata!

e felice!

PINKERTON

(Pinkerton batte tre volte le mani: i servi e Suzuki
accorrono subito, e Pinkerton ordina ai servi:)

A voi, chiudete!

(I servi fanno scorrere silenziosamente alcune
pareti.)

BUTTERFLY

(con intensità a Pinkerton)

Sì, sì, noi tutti soli...

E fuori il mondo...

PINKERTON

(ridendo)

E il Bonzo furibondo.

BUTTERFLY

(a Suzuki, che è venuta coi servi e sta aspettando gli
ordiri)

Suzuki, le mie vesti.

(Suzuki fruga in un cofano e dà a Butterfly gli abiti
per la notte ed un cofanetto coll'occorrente per
la toeletta.)

(Pinkerton batte le mani: i servi corrono via)

(Butterfly entra nella casa ed aiutata da Suzuki fa
cautelosamente la sua toeletta da notte, levandosi
la veste nuziale ed indossandone una tutta
bianca; poi siede su di un cuscino e mirandosi in
uno specchietto si ravvia i capelli: Suzuki esce)

BUTTERFLY

Quest'obi pomposa di sciogliere mi

ピンカートン

そして君はひとり

蝶々夫人

ひとりぼっちで、棄てられて! 棄てられて!
でも蝶々は幸せです!

ピンカートン

(手を3度叩き、現れた召使いたちとスズキに命じる)

そこを閉めてくれ

(召使いたちは音を立てないように障子や襖ふすまを閉める)

蝶々夫人

(ピンカートンに強い調子で)

ええ、ええ、私たちふたりだけ

世間から遠く離れて

ピンカートン

(笑いながら)

怒り狂ったボンゾもない

蝶々夫人

(召使いたちと現れ、命令を待っているスズキに)

スズキ、着替えを持ってきて

(スズキは衣装箱から蝶々さんの夜着と、化粧道具が
入った小箱を取り出す)(ピンカートンが再び手を叩くと、召使いたちは出てい
く)(蝶々さんは家に入り、スズキに手伝わせて丁寧に化粧
を整え、花嫁衣装から白い夜着に着替え、座布団
に座って鏡を見ながら髪を整える。支度が終わると、
スズキは出ていく)

蝶々夫人

この豪華な帯は解くほどのに手間取るわ

tarda...

si vesta la sposa di puro candor.

Tra motti sommessi

sorride e mi guarda.

Celarmi potessi! ne ho tanto rossor!

E ancor l'irata voce mi maledice...

Butterfly rinnegata...

Rinnegata... e felice.

PINKERTON

(guardando amorosamente Butterfly)

Con moti di scojattolo

i nodi allenta e scioglie!

Pensar che quel giocattolo

è mia moglie. Mia moglie!

(sorridente)

Ma tal grazia dispiega,

ch'io mi struggo per la febbre

d'un subito desio.

(alzandosi, poco a poco s'avvicina a Butterfly)

PINKERTON

(stende le mani a Butterfly che sta per scendere
dalla terrazza)

Bimba dagli occhi pieni di malia
ora sei tutta mia.

Sei tutta vestita di giglio.

Mi piace la treccia tua bruna
fra i candidi veli.

BUTTERFLY

(scendendo dal terrazzo)

Somiglio la Dea della luna,

la piccola Dea della luna che scende
la notte dal ponte del ciel.

PINKERTON

E affascina i cuori...

花嫁がまとうのは純白の衣装

あのひとは何かつぶやきながら

微笑んで私を見ている

隠れてしまいたい

とても恥ずかしいわ

私を呪うあの声はまだ聞こえる

蝶々は棄てられて

棄てられて、でも幸せです

ピンカートン

(愛おしそうに蝶々さんを見つめて)

リスのように素早く結び目を解いている

あの人形のような子が私の妻! 私の妻!

(微笑んで)

あの優美さが

僕の欲望に火をつける

(立ち上がり、蝶々さんに近づく)

ピンカートン

(縁側から降りようとしている蝶々さんに手を差し伸べ
る)

魅惑の目をした可愛い子

きみは今 僕のものになる

百合のように白い着物

白いヴェールに包まれた豊かな黒髪
全部大好きだ

蝶々夫人

(縁側から降りて)

私 月の女神に似ていますか

夜中に空の橋から降りてくる

小さな月の女神に

ピンカートン

心を魅了する女神

BUTTERFLY

E li prende,
e li avvolge in un bianco mantel.
E via se li reca negli alti reami.

PINKERTON

Ma intanto finor non m'hai detto,
ancor non m'hai detto che m'ami.
Le sa quella Dea le parole
che appagan gli ardenti desir?

BUTTERFLY

Le sa.
Forse dirle non vuole
per tema d'averne a morir,
per tema d'averne a morir!

PINKERTON

Stolta paura,
l'amor non uccide
ma dà vita, e sorride
per gioie celestiali
(avvicinandosi a Butterfly e carezzandole il viso)
come ora fa nei tuoi lunghi occhi ovali.

(Butterfly, con subito movimento si ritrae dalla
carezza ardente di Pinkerton)

BUTTERFLY

(con intenso sentimento)
Adesso voi
(entusiasmandosi)
siete per me l'occhio del firmamento.
E mi piaceste dal primo momento
che vi ho veduto.
(Butterfly ha un moto di spavento e fa atto di turarsi
gli orecchi, come se ancora avesse ad udire le
urla dei parenti; poi si rassicura e con fiducia si
rivolge a Pinkerton)

蝶々夫人

その心をつかまえ
白い着物に包んで
天の国へと運んでいくのです

ピンカートン

でもまだ君は言ってくれない
愛していると言ってくれない
月の女神は
僕を喜ばせるこの言葉を知っているの?

蝶々夫人

知っています
でも言えないのです
口にしたら死んでしまいそうで
口にしたら死んでしまいそうで!

ピンカートン

そんなことはないよ
愛は人を殺したりしない
命を与え 笑みがこぼれるような無上の喜び
をくれるのだ
(蝶々さんに近づき、顔を撫でる)
君の切れ長の瞳が微笑んでいるように

(蝶々さんは突然ピンカートンの熱烈な愛撫から逃れ
る)

蝶々夫人

(激情に駆られて)
今からあなたは
(興奮して)
私の太陽
初めてお見かけした時から
あなたが好きでした
(蝶々さんは突然、親戚たちの罵声を思い出したように
耳をふさぐ。落ち着きを取り戻すと、信頼の念を込め
てピンカートンの方に向き直る)

Siete alto, forte.

Ridete con modi si palesi!

E dite cose che mai non intesi.

Or son contenta, or son contenta.

(-Notte completa: cielo purissimo e stellato-)

BUTTERFLY

(avvicinandosi lentamente a Pinkerton seduto sulla panca nel giardino)

(si inginocchia ai piedi di Pinkerton e lo guarda con tenerezza, quasi supplichevole)

Vogliatemi bene,

un bene piccolino,

un bene da bambino,

quale a me si conviene, vogliatemi bene.

Noi siamo gente avvezza

alle piccole cose umili e silenziose,

ad una tenerezza

sfiorante e pur profonda

come il ciel, come l'onda del mare.

PINKERTON

Dammi ch'io baci le tue mani care.

(prorompe con grande tenerezza)

Mia Butterfly! come t'han ben nomata

tenuè farfalla...

BUTTERFLY

(a queste parole Butterfly si rattrista e ritira le mani)

Dicon ch'oltre mare

se cade in man dell'uom,

(con paurosa espressione)

ogni farfalla da uno spillo è trafitta

(con strazio)

ed in tavola infitta!..

PINKERTON

(riprendendo dolcemente le mani a Butterfly e

あなたは背が高く、遅^{たくま}しく、朗らかに笑い
私の知らないことをお話しになる
ああ、私は幸せ
幸せです

(日はとっぷりと暮れ、夜空に星が瞬いている)

蝶々夫人

(庭のベンチに座っているピンカートンにゆっくり近づく)

(ピンカートンの足元にひざまずき、優しく、訴えかけるように彼を見上げる)

可愛がってくださいね

小さな私ですけれど

子供のような私ですけれど

そんな私にふさわしいように

可愛がってくださいね

私たち日本人は

小さく慎ましく静かなことが好きなのです

そして慎ましくも深い

空や海の波のような優しさが

ピンカートン

君の可愛い手に口づけさせておくれ

(優しさを溢れさせて)

僕の蝶々さん! なんてぴったりの名前なんだ

はかな
儂い蝶々さん

蝶々夫人

(悲しげな表情を浮かべ、手を引く)

海の向こうでは

人間が蝶々を捕らえると

(怯えて)

ピンで刺し

(苦しうに)

板に留めてしまうとか

ピンカートン

(蝶々さんの手を優しく取り

sorridendo)
 Un po' di vero c'è.
 E tu lo sai perchè?
 Perchè non fugga più.
 (con entusiasmo e affettuosamente abbracciandola)
 Io t'ho ghermita...
 Ti serro palpitante.
 Sei mia.

BUTTERFLY
 (abbandonandosi)
 Sì, per la vita.

PINKERTON
 Vieni, vieni!
 Via dall'anima in pena
 l'angoscia paurosa.
 (indica il cielo stellato)
 È notte serena!
 Guarda: dorme ogni cosa!

BUTTERFLY
 (guardando il cielo, estatica)
 Ah! Dolce notte!

PINKERTON
 Vieni, vieni!

BUTTERFLY
 Quante stelle!
 Non le vidi mai sì belle!

PINKERTON
 È notte serena!
 Ah! vieni, vieni!
 È notte serena!
 Guarda: dorme ogni cosa!

微笑んで)
 そうかもしれない
 なぜだか知っているかい?
 逃さないためだよ
 (情熱的に、愛を込め、蝶々さんを抱きしめる)
 大切なものを
 君は震えている
 君は僕のものだ

蝶々夫人
 (身を投げ出す)
 ええ、命あるかぎり

ピンカートン
 おいで、おいで!
 心を悲しませる悩み苦しみは
 みんな捨てておしまい
 (星空を指さす)
 静かな夜!
 ご覧、みんな眠っている

蝶々夫人
 (空を見上げ、うっとりとなる)
 ああ、なんて甘い夜!

ピンカートン
 おいで、おいで!

蝶々夫人
 なんてたくさんの星
 こんなに綺麗な^{きれいな}星空は初めて!

ピンカートン
 静かな夜だ!
 さあ、おいで、おいで!
 ああ、静かな夜だ!
 ご覧、みんな眠っている

BUTTERFLY

Dolce notte! Quante stelle!

PINKERTON

Vieni, vieni!

BUTTERFLY

Non le vidi mai sì belle!

PINKERTON

Vieni, vieni!

BUTTERFLY

Trema, brilla ogni favilla

PINKERTON

Vien, sei mia!

(compaiono le lucciole che brillano attorno agli
amanti, tra i fiori e tra il fogliame degli alberi)

BUTTERFLY

col baglior d'una pupilla! Oh!

PINKERTON

(con cupido amore)

Via l'angoscia dal tuo cor

BUTTERFLY

Oh! quanti occhi fissi, attenti
d'ogni parte a riguardar!
pei firmamenti, via pei lidi, via pel mare!

Oh! quanti occhi fissi, attenti.

Quanti sguardi

ride il ciel!

Ah! Dolce notte!

Tutto estatico d'amor

ride il ciel!

蝶々夫人

なんて甘い夜! なんてたくさんの星!

ピンカートン

おいで、おいで!

蝶々夫人

こんなに綺麗な星空は初めて

ピンカートン

おいで、おいで!

蝶々夫人

瞬いて、輝いている、どの星もきらめいている

ピンカートン

おいで、君は僕のもの!

(蛍が飛んできて、恋人たちや花々や木々の間で瞬き
始める)

蝶々夫人

ああ! 瞳のように輝いている!

ピンカートン

(愛情を込めて)

苦しみは捨てておしまい

蝶々夫人

なんてたくさんの瞳!
あちこちから私たちを見つめている
空からも陸からも海からも
ああ、なんてたくさんの瞳!
みんな見つめている!
空が微笑んでいる
ああ、なんて甘い夜!
愛に酔ってしまうわ
空が微笑んでいる

PINKERTON

Ti serro palpitante.
Sei mia. Ah, vien, vien, sei mia!
Ah! Vieni, guarda:
dorme ogni cosa!
Ti serro palpitante.
Ah, vien!
Guarda: dorme ogni cosa.
Ah! vien! Ah! vieni, vieni!
Ah! vien, Ah! vien! sei mia!

(salgono dal giardino nella casetta)

ピンカートン

僕の腕の中で震えている君
君は僕のものだ!
おいで、おいで、君は僕のもの
ご覧、みんな眠っている
僕の腕の中で震えている君
さあ、おいで!
ご覧、みんな眠っている
さあ、おいで! さあ、おいで、おいで!
さあ! おいで、おいで、君は僕のものだ!

(ふたりは庭から家にかかる)

加藤浩子 | Hiroko Kato

音楽評論家。著書に「オペラで楽しむヨーロッパ史」など多数。

4/16 金 6:00pm*
4/17 土 2:00pm

東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

April
16(Fri) 6:00pm*
17(Sat) 2:00pm

指揮 鈴木雅明
Masaaki Suzuki, conductor

オーボエ 吉井瑞穂
Mizuho Yoshii, oboe

コンサートマスター 白井 圭
Kei Shirai, concertmaster

※当初予定していた開演時刻が変更となりました。

ハイドン

交響曲 第95番 ハ短調 Hob. I-95 [21']

- I アレグロ・モデラート
- II アンダンテ
- III メヌエット・トリオ
- IV 終曲: ヴィヴァーチェ

モーツァルト

オーボエ協奏曲 ハ長調 K. 314 [21']

- I アレグロ・アペルト
- II アダージョ・ノン・トロツポ
- III ロンド: アレグレット

— 休憩 (20分) —

シューマン

交響曲 第1番 変口長調 作品38「春」 [30']

- I アンダンテ・ウン・ポコ・マエストーゾ・アレグロ・モルト・ヴィヴァーチェ
- II ラルゲット
- III スケルツォ: モルト・ヴィヴァーチェ
- IV アレグロ・アニマーテ・エ・グラチオーソ

Franz Joseph Haydn (1732-1809) The Symphony No. 95 C Minor Hob.I-95

- I Allegro moderato
- II Andante
- III Menuet – Trio
- IV Finale: Vivace

Wolfgang Amadeus Mozart (1756-1791)

Oboe Concerto C Major K. 314

- I Allegro aperto
- II Adagio non troppo
- III Rondo: Allegretto

— intermission (20 minutes) —

Robert Schumann (1810-1856) Symphony No. 1 B-flat Major Op. 38 “Frühling”

- I Andante un poco maestoso – Allegro molto vivace
- II Larghetto
- III Scherzo: Molto vivace
- IV Allegro animato e grazioso

Artist Profiles

鈴木雅明 (指揮)



鈴木雅明に国際的な名声をもたらしたのは、まずそのバッハ演奏である。オルガンそしてチェンバロ奏者としてはもとより、1990年に結成した合唱団とピリオド楽器オーケストラからなる、「バッハ・コレギウム・ジャパン (BCJ)」との活動は、1995年から18年がかりで完結した教会カンタータ全曲演奏および録音という壮挙をはじめ、多くの実りを現代のバッハ演奏にもたらした。近年はBCJのほか海外のピリオド楽器オーケストラ、モダン楽器オーケストラとの共演も多く、ハイドンからマーラー、ストラヴィンスキーに至る幅広いレパートリーに新鮮なアプローチを聴かせている。これまでにニューヨーク・フィルハーモニック、ボストン交響楽団、デンマーク国立交響楽団、ベルリン・ドイツ管弦楽団、チューリヒ・トーンハレ管弦楽団、バイエルン放送交響楽団などに客演。東京藝術大学作曲科および同大学院オルガン専攻で学び、アムステルダム・スウェーリンク音楽院でトン・コープマンらに師事。東京藝術大学古楽科設立に携わり、2010年まで20年にわたり指導した。2001年ドイツ連邦共和国功労勲章功労十字小綬章、2011年紫綬褒章、2013年サントリー音楽賞(バッハ・コレギウム・ジャパンと共に)など受賞多数。2020年10月、N響の舞台に初めて立ち、ハイドン、モーツァルトからシューベルト、ベルワルドを経て、武満徹に至るまで、多彩なプログラムを指揮した。

[矢澤孝樹／音楽評論家]

吉井瑞穂 (オーボエ)



神奈川県鎌倉市出身。東京藝術大学入学後に渡独し、カールスルーエ国立音楽大学を首席で卒業。日本音楽コンクール・オーボエ部門第1位をはじめ、コンクールでの受賞多数。ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のエキストラやシュトゥットガルト州立歌劇場管弦楽団の首席を経て、2000年マーラー室内管弦楽団首席奏者に就任。アバドをはじめ(共演200回以上)、ヴァント、ラトル、ハイティンク、アーノンクール、ブルー

ーズ、ロト、ドゥダメルといった巨匠の指揮で演奏を重ね、ヨーロッパの主要オーケストラから数多く客演首席奏者として招かれている。ソロや室内楽でも精力的な活動を展開し、テツラフ弦楽四重奏団、アンズネス、フロストなどと共演。2007年にはザルツブルク・モーツァルト週間に協奏曲のソリストとして出演した。ルツェルン祝祭管弦楽団設立メンバー。東京藝術大学准教授。第49回JXTG音楽賞(現ENEOS音楽賞)奨励賞受賞。N響にも客演首席奏者としてたびたび出演し、パーヴォ・ヤルヴィ、エッセンバッハらの指揮で演奏した。N響の舞台にソリストとして立つのは、今回が初めて。

Program Notes | 小宮正安

「人生の転換期に立った作曲家たちの傑作」、これぞ今回の曲目に共通する特徴だ。ハイドンは人生初のロンドン滞在、モーツァルトは故郷ザルツブルクからの離職、そしてシューマンは結婚と交響曲創作……。価値の転換を余儀なくされる今、古典派はもとよりロマン派にまでレパートリーを広げ始めた鈴木 of 鮮烈な解釈も聴きどころである。

ハイドン

交響曲 第95番 ハ短調 Hob. I-95

1790年、ヨーゼフ・ハイドン(1732~1809)の身に大きな変化が起きる。長年にわたって宮廷楽長として仕えてきた、ハンガリーの名門貴族エステルハーゼ侯爵家の当主が死去。新当主は音楽に興味がなく、ハイドンに年金を与えてリタイアさせてしまう。

そんなハイドンのもとを訪れたのが、ドイツ出身のヴァイオリニストとしても知られるヨハン・ペーター・ザロモン(1745~1815)。彼は当時まだめずらしかった音楽会のプロモーターで、ヨーロッパ大陸から有名音楽家をロンドンへ招いては、自らの主催する音楽会に出演させることをもっぱらとしていた。その白羽の矢をハイドンに立てたというわけである。

ザロモンの誘いに対してハイドンは当初、すでに60歳近い高齢である自分が言葉も習慣も異なる異郷へ赴くことに難色を示す。だがザロモンによって提示された高額報酬と、新作発表の機会の約束に、ついに首を縦に振る結果に。以後、1791年から1792年、1794年から1795年の2度に渡って彼はロンドンに滞在した。

その第1回目の滞在の際に書かれた6つの新作交響曲のうちのひとつが、《交響曲第95番》である。この交響曲群の中で唯一の短調(ハ短調という調性は、悲痛や悲嘆を象徴するものと考えられていた)、しかもそれを端的に示すべく、やはり当交響曲群の中では唯一、序奏なしで始まる。劇を上演する際の序曲から派生した「交響曲」というジャンルが、演奏会の景気付けのような存在と捉えられていた当時、そうした発想がいかに斬新だったことか!

しかも当作品は短調を基本としつつも、長調との間を激しく揺れ動く。ソナタ形式(第1楽章)、変奏曲(第2楽章)、メヌエット(第3楽章)、ロンド(第4楽章)という構成を基本としつつ、新たな時代に向けて「個」の意識を芽生えさせつつあった市民階級の「感情」へ訴えかけるという手法。かと思えば第1楽章には、おそらくザロモンを想定して書いたヴァイオリン独奏、第3楽章にはザロモン主催の演奏会にしばしば登場したチェロ奏者のメネルを想定したチェロ独奏が登場するというサービス精神も発揮される。

作曲年代	1791年
初演	1791年、ロンドン
楽器編成	フルート1、オーボエ2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、ティンパニ1、弦楽

モーツァルト

オーボエ協奏曲 ハ長調 K. 314

ハイドンがロンドンに旅立つ直前、涙の別れをおこなったのが、ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト(1756~1791)だ。1781年から始まったウィーンでの生活において、公私ともに支えてくれたハイドンの旅立ちは、彼にとって大きなショックだった。

そのモーツァルトが、ウィーン生活を開始する4年前の1777年に作曲したのが《オーボエ協奏曲》である。オーボエはこの時代楽器改良の途上にあり、ただだからこそオーボエの名手たちは、楽器の限界に挑み、その可能性を押し広げていった。

そのひとりが、当時モーツァルトが仕えていたザルツブルク大司教の宮廷で、彼の同僚として働いていたジュゼッペ・フェルレンディス(1755~1810)。この地での宮仕えに嫌気がさしていたモーツァルトではあるが、フェルレンディスの演奏に触発されたのだろう。大司教の前で彼が腕を振るえるような協奏曲を書き上げた。と同時に、モーツァルトはこの年の秋から大規模な求職旅行へ出かけるが、滞在先でこの曲を自らの才能を証明する作品として披露する狙いもあったようだ。

じっさいこの作品、独奏者にとって聴かせどころである高音域の中に、快活と憂愁、陽気と悲痛といったさまざまな「感情」が交差するという聴かせどころに満ちている。フェルレンディスの演奏能力とモーツァルトの作曲能力の高さが結合した証しにほかならない。

第1楽章は、軽快なテンポを基本としたソナタ形式の中に、当時の宮廷文化の優美が匂い立つ。第2楽章は、すでに数々のオペラを書いて話題を呼んできたモーツァルトの歌に対する抜群の感覚を物語るかのように、上質のオペラ・セリアのアリアを彷彿させる繊細な音楽が続く。しかもソナタ形式を原則的に用いながら、展開部と再現部第1主題をあえてカットするという大胆な実験精神も。そして第3楽章は、ウィーンに出てきたモーツァルトが1782年に初演した《歌劇「後宮からの誘拐」》の中のアリア〈大きな喜びに〉にも通じる、憧れと歓喜に満ちた旋律が特徴だ。なお件のフェルレンディス、後にロンドンへ渡り、彼の地でハイドンとも親交を持っている。

作曲年代	1777年
初演	1777年、ザルツブルク
楽器編成	オーボエ2、ホルン2、弦楽、オーボエ・ソロ

シューマン

交響曲 第1番 変ロ長調 作品38「春」

「感情」の目覚め、それは18世紀末のフランス革命期を通じてさらに鋭敏になり、19世紀にはロマン主義の誕生へと繋がる。ロマン主義を一言でまとめるならば、理性や合理

主義よりも、個人の感情や想像力を重視した文化潮流にほかならない。そして、音楽の世界におけるロマン主義の代表者のひとりこそ、ローベルト・シューマン(1810~1856)である。

シューマンが《交響曲第1番》を一気呵成^{かせい}に書き上げたのは、1841年のこと。それまでも感情に富む数多のピアノ曲を発表し、作曲家としてのキャリアを築いてきた彼だが、「交響曲」という堅固な形式を必要とするジャンルに関しては、それを手中に収めるために長い時間が必要だった。1830年代初頭に、未完成の交響曲を1曲残したのみである。

ところが、1840年にさまざまな困難を乗り越えてクララ・ヴィーク(1819~1896)との結婚を果たしたと、1839年にウィーンでフランツ・シューベルトの未発表の交響曲(《交響曲第8番「ザ・グレート」》)を発見したことが刺激となったのだろう。振幅の大きい自らの感情を、交響曲という枠組みの中に融合させて、文字通りのロマン主義的交響曲ともいえる《交響曲第1番》が誕生した。

なお当作品は別名「春の交響曲」とも呼ばれているが、これはシューマンと同時代のドイツの詩人アドルフ・ベトガー(1815~1870)の『春の詩』という作品に触発されたため。第1楽章冒頭のファンファーレが、この詩の最後に登場する一節「O wende, wende deinen Lauf/ Im Tale blüht der Frühling auf!(変えよ、変えよ君の行く道を/谷には春が生まれ咲く!)」をなぞった音型となっている。また作曲当初、シューマンはそれぞれの楽章にも「春の目覚め」「夕べ」「楽しかった遊び」「咲き誇る春」という標題を付けていた。

じっさい、詩と音楽の融合は、感情の滾り^{たぎ}りを重んじたロマン主義のひとつの特徴だった。またシューマン自身それに影響を受けていたのだが、初演後10年以上にわたる改訂作業の中でそれらの標題を取り去ってしまう。そこには、詩から始まった音楽が、ひとつの作品として自立を遂げてゆく過程を見て取ることも可能だろう。また例えば、第2・3楽章(なおこの2つの楽章は続けて演奏される)における不安の影、狂気を孕んだ荒々しさ、さらには第4楽章の第2主題に現れる自己風刺的な楽想(シューマンの自作《クライスレリアーナ》からとられたもの)が、件の標題にそぐわなかったということもあるだろう。

いずれにしても、こうしてシューマンの創作活動は新たな春を迎える。そしてそれは、ロマン主義の音楽の新たな局面でもあったのだ。

作曲年代	[初稿]1841年 [改訂稿]1853年(なお、本公演は改訂稿での演奏となる)
初演	1841年3月31日、ライプツィヒ、フェリックス・メンデルスゾーン指揮、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団
楽器編成	フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、ティンパニ1、トライアングル、弦楽

小宮正安 | Masayasu Komiya

横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院教授。専門はヨーロッパ文化史、ドイツ文学。

4/21 水 6:00pm^{**}
4/22 木 6:00pm^{**}

サントリーホール

Suntory Hall

April

21(Wed) 6:00pm^{**}

22(Thu) 6:00pm^{**}

指揮	大植英次 Eiji Oue, conductor
ピアノ	阪田知樹 ★ Tomoki Sakata, piano★
トランペット	長谷川智之 ★ Tomoyuki Hasegawa, trumpet★
コンサートマスター	伊藤亮太郎 Ryotaro Ito, concertmaster

※当初予定していた開演時刻が変更となりました。

グリーグ

2つの悲しい旋律 作品34 [9']

- I 胸の痛手
- II 春

ショスタコーヴィチ

ピアノ協奏曲 第1番 ハ短調 作品35* [21']

- I アレグレット
- II レント
- III モデラート
- IV アレグロ・コン・ブリオ

— 休憩 (20分) —

シベリウス

交響曲 第2番 二長調 作品43 [43']

- I アレグレット
- II テンポ・アンダンテ、マルバート
- III ヴィヴァチッシモ
- IV 終曲: アレグロ・モデラート

Edvard Grieg (1843–1907)

Two Elegiac Melodies Op. 34

- I Heartwounds
- II The Last Spring

Dmitry Shostakovich (1906–1975)

Piano Concerto No. 1 C Minor Op. 35*

- I Allegretto
- II Lento
- III Moderato
- IV Allegro con brio

— intermission (20 minutes) —

Jean Sibelius (1865–1957)

Symphony No. 2 D Major Op. 43

- I Allegretto
- II Tempo andante, ma rubato
- III Vivacissimo
- IV Finale: Allegro moderato

Artist Profiles

大植英次 (指揮)



©大植英次

1956年広島生まれ。桐朋学園で齋藤秀雄に師事。1978年、当時ボストン交響楽団音楽監督を務めていた小澤征爾の招きにより、世界から俊英が集うタングルウッド音楽祭に初めて参加。同年ボストンのニューイングランド音楽院指揮科に入学。1980年にはタングルウッド音楽祭でクーセヴィツキー賞を受賞。この音楽祭で、師バーンスタインと出会い、以後師の世界各地の公演に同行する。1981年ザルツブルク・モーツァルテウム指揮者コンクールで第1位受賞。これまでにミネソタ管弦楽団およびグラランド・ティートン音楽祭(ワイオミング州)の音楽監督、ハノーバー北ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者(現名誉指揮者)、バルセロナ交響楽団音楽監督などの重責を担う。2005年にはバイロイト音楽祭で《トリスタンとイゾルテ》を指揮した。国内では2003年から2012年まで、朝比奈隆の後任として大阪フィルハーモニー交響楽団音楽監督を務めた(現桂冠指揮者)。客演も活発に行い、ニューヨーク・フィルハーモニック、シカゴ交響楽団、フィラデルフィア管弦楽団、ロサンゼルス・フィルハーモニック、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団など、世界最高峰のオーケストラと共演を繰り返し続けてきた。N響の指揮台に初めて立ったのは1999年のこと。今回、22年ぶりの共演となる。

阪田知樹 (ピアノ)



©Hiideki Naitani

愛知県出身。東京藝術大学附属高校を経て東京藝術大学に入学。2013年、同大学在学中に、第14回ヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクールで最年少入賞。2014年よりハノーバー音楽演劇大学で学び、学士、修士課程を修了。現在同大学院ソリスト課程に在籍中。世界的ピアニストを輩出する「コモ湖国際ピアノアカデミー」に最年少で入学して以来、イタリアでも研鑽^{けんさん}を積む。パウル・バドゥラ・スコダに10年にわたり学び、音楽理論・作曲を高橋千佳子、永富正之、松本日之春に師事。2016年には、ハンガリーのフランツ・リスト国際ピアノ・コンクールで第1位となり、国際的な注目を集める。これまでに20か国で演奏し、各地の音楽祭への出演も多い。ラザレフ、スラットキン、バツティストーニらの著名な指揮者や、シュターツカペレ・ハレ、チェコ国立交響楽団、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団などの国内外のオーケストラと共演を重ねてきた。2018年には、ドイツの名門ライブツィヒ・ゲヴァントハウスにてリサイタル・デビュー。N響との共演は今回が初めてとなる。

Program Notes | 千葉 潤

人生の苦悩や諦念を北欧の春に投影したグリークの《2つの悲しい旋律》は、すべての人の心に寄り添う名曲。破天荒なショスタコーヴィチの《ピアノ協奏曲第1番》で気分を転換したあとは、独自の音楽性によって交響曲の世界を再構築しながら、希望への道のりを力強く表現したシベリウスによる《交響曲第2番》で、音楽を聴ける喜びを分かち合いたい。

グリーク

2つの悲しい旋律 作品34

エドヴァルト・グリーク(1843~1907)といえば、《ピアノ協奏曲イ短調》や劇音楽《ペール・ギント》などの大作が有名だが、彼が生涯にわたって書き続けたピアノ曲集《叙情小曲集》や歌曲のような小品の世界では、人生の機微や自然との交感が、まるで珠玉の随筆のように、飾らない言葉づかいで素朴かつ繊細に表現されていて、グリークの寛いだ表情がうかがえる。

《2つの悲しい旋律》は、ノルウェー詩人オスムン・オラヴソン・ヴィニエ(1818~1870)の詩による歌曲集《ヴィニエの詩への12の旋律》の中の2曲を、作曲者自身が弦楽合奏用に編曲したもの。〈胸の痛手〉は、人生の戦いで負った心の傷口から、春になると花々が咲きいであるという内容であり、陰鬱な不協和音の連続が、やがて慰めに満ちた長調の終止形に道を譲る。〈春〉(「過ぎた春」のタイトルでも知られる)は、死期を悟った詩人が最後の春の訪れを慈しむ様が、深い味わいを湛えた弦楽合奏によって表現される。

作曲年代	[原曲]1873~1880年 [編曲]1880年
初演	不明(1880年にグリークが指揮者に就任したベルゲン「ハルモニエーン」オーケストラによって初演されたと推測される)
楽器編成	弦楽

ショスタコーヴィチ

ピアノ協奏曲 第1番 ハ短調 作品35

19世紀ロマン派音楽において「ピアノ協奏曲」というジャンルは、甘美な旋律や華やかな超絶技巧で人気を博したが、20世紀に入ると、ガーシュウィン《ラプソディー・イン・ブルー》を嚆矢として、軽妙洒脱さとパロディ性を打ち出した新しいスタイルの作品が隆盛する。他方、革命と内戦が終結して西側との交流が復活した1920年代のソ連では、西洋の芸術音楽も「西側」の新しい娯楽音楽も批判的に受容しながら、新しい労働大衆にふさわしい芸術文化を模索する短くも生産的な実験の季節を迎えていた。ジャズ・

バンド風の編成で、ベートーヴェンやハイドンの有名ソナタの一節や自分自身の劇音楽を引用し、現代性と大衆音楽を混然一体化させたドミトリ・ショスタコーヴィチ(1906～1975)の《ピアノ協奏曲第1番》は、まさにこの時期ならではの所産であると同時に、その最後の輝きでもあった。まもなくソ連音楽は1930年代の文化統制の時代に移行していくのである。

第1楽章 アレグレット、ハ短調、4/4拍子。ピアノ独奏が奏する第1主題冒頭はベートーヴェンの《ピアノ・ソナタ第23番「熱情」》のもじりだが、軍楽ファンファーレ風に始まる第2主題は大衆音楽のリズムであり、深刻さと軽薄さが入り乱れる展開部は、喜劇映画を見るようだ。

第2楽章 レント、ホ短調、3/4拍子。ゆるやかなテンポで感傷的な旋律によるポストン・ワルツ風の楽章。後半ではバラード風のトランペット独奏が聴きどころ。

第3楽章 モデラート、変イ長調、4/4拍子。バロック時代の即興的ジャンル「ファンタジア(幻想曲)」を思わせるピアノ独奏中心の短い楽章であり、休みなく次の楽章へ続く。

第4楽章 アレグロ・コン・ブリオ、ハ短調、2/4拍子、ロンド形式。短調と長調が交替するせわしないロンドの合間に、ハイドンのソナタや作曲家自身のポルカが引用され、最後は軍隊ファンファーレとギャロップが(ベートーヴェン《なくした小銭への怒り》の一節も!)この自由奔放な協奏曲を締めくくる。

作曲年代	1933年3月～7月
初演	1933年10月15日、作曲家自身のピアノ独奏、アレクサンドル・シュミットのトランペット独奏、フリッツ・スティードリー指揮、レニングラード・フィルハーモニー交響楽団
楽器編成	トランペット・ソロ、弦楽、ピアノ・ソロ

シベリウス

交響曲 第2番 二長調 作品43

19世紀後半の西洋音楽は、さまざまな国家やイデオロギーのせめぎ合いの中で展開した。ジャン・シベリウス(1865～1957)の場合、《交響詩「フィンランディア」》が象徴するように、祖国フィンランドの帝政ロシアからの独立運動を背景としたナショナリズムと「標題音楽」を特徴とした初期の創作から、より純粋な芸術性を追求する「絶対音楽」への方向転換のきっかけに位置するのが《交響曲第2番》である。

この時期にシベリウスの創作活動を新たな方向へと導いたのは、のちに彼の最大のパトロンとなった同郷の士アクセル・カルペラン男爵であり、彼の尽力により実現したシベリウスのイタリア旅行は、《交響曲第2番》の成立に大きな影響を与えた。作曲者がカルペランに語ったところでは、「イタリアと地中海からインスピレーションを得た、大規模な五楽章の交響曲。太陽の輝き、青い空、張り切れんばかりの喜びに満ちた音楽」となる

はずだったが、第2楽章には旅行中に着想された「ドン・ジョヴァンニと死」やダンテ『神曲』に因んだ作曲素材の一部が転用されており、開放的な明るさとほの暗い情熱の両面を有機的に一体化する作曲作業は苦難を極めたようだ(神部智『シベリウス』参照)。

初演は《フィンランディア》と同様の愛国的作品と受け止められて大成功を収めたが、浅薄な解釈に嫌気がさしたシベリウスは、その後ますますモダニズムへと傾斜していくのである。

第1楽章 アレグレット、ニ長調、6/4拍子、ソナタ形式。田園風に始まる第1主題は、交響曲全体を統一する2つの要素(同音連打、3度上行音型)を含んでおり、この後に登場するさまざまな動機断片も、この第1主題の繰り返しから有機的に派生していく。オーボエ・ソロで始まる展開部では、諸動機がもれなく活用されつつ悲劇的な緊張感を強めるが、その後、低音にじっくりと支えられながらニ長調の再現部が導き出されていくまでの息の長い盛り上がりは、「交響曲作家シベリウス」の成熟の証しであろう。

第2楽章 テンポ・アンダンテ、マ・ルバート、ニ短調、4/4拍子。巡礼の行列を連想させるピチカートにのって木管が歌う第1主題は「死」のイメージ、沈黙の後に弦楽器が奏する第2主題は「キリスト」のイメージにそれぞれ関連しており、両主題が交互に現れながら発展的に変奏されていく。

第3楽章 ヴィヴァチッシモ、変ロ長調、6/8拍子。1小節1拍で進んでいく迅速なスケルツォと、第1楽章冒頭を彷彿させる田園風のトリオが対比され、2度目のトリオ後半からは、全曲を統一する同音連打のリズムと(ここではベートーヴェン《運命》を想起させる)3度上行音型が続々と生起しながら、フィナーレを導きだす。

第4楽章 アレグロ・モデラート、ニ長調、3/2拍子。第1楽章の明るさと第2楽章の陰鬱さを集約するように対照的な2つの主題が展開され、最後に恍惚とした賛歌のようなクライマックスに到達する。

作曲年代	1901年から1902年
初演	1902年3月8日、作曲者自身の指揮、ヘルシンキ管弦楽協会
楽器編成	フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット3、トロンボーン3、テューバ1、ティンパニ2、弦楽

千葉 潤 | Jun Chiba

札幌大谷大学学長。専門はロシア音楽。

N響百年史

第十八回 震災・復興・オーケストラ！

片山杜秀
Morihide Katayama

二〇二六年のN響創立百周年に向け、NHK「クラシックの迷宮」のパーソナリティとしても馴染みの思想史研究者で音楽評論家の片山杜秀さんが、N響の歴史を時代背景とともに、独自の視点からひもときます。関東大震災によって灰燼に帰した帝都・東京。ハルビンにいた山田耕筈は急遽帰朝し、「音楽による復興」に獅子奮迅の働きを見せます。

関東大震災下の音楽家たち

1923(大正12)年9月1日午前11時58分、関東地方を大地震が襲った。震源は相模湾、マグニチュードは7.9と推定されている。2011(平成23)年の東日本大震災といえど津波による被害が際立ったが、この地震で圧倒的だったのは火災であった。東京の市街地の約4割、横浜のそのの大半が焼けた。

その日、音楽関係者はどのような経験をしていたか。たとえば、その後1926(大正15/昭和元)年10月には新交響楽団(現NHK交響楽団)の結成メンバーのひとりとなるフルーティストの宮田清蔵は、戦後、海軍軍楽隊出身の作曲家、大森盛太郎のインタヴューに応じて、次のように回想している。宮田はその日、ハタノ・オーケストラの一員として目黒の映画館のオーケストラ・ピットで練習中だった。ハタノ・オーケストラは、さまざまな出自の演奏家たちを集めて、パーティー会場や無声映画館での演奏を生業とした楽団で、宮田は東京日本橋の三越百貨店の少年音楽隊からの叩き上げであった。山田耕筈や近衛秀麿が率い、関東大震災後に日本交響楽協会管絃団ないし管絃楽団、さらに新交響楽団へとかたちをなしてゆく、オーケストラ運動を支えたプレイヤーのうち、特に木管楽器は百貨店の少年音楽隊出身者が、金管楽器は軍楽隊出身者が多かった。いわゆる楽隊出の人々の世界だった。彼らは、普段は無声映画館やホテル等で日常的に演奏して食い扶持を稼ぎ、本格的な交響楽の演奏会があるときには臨時メンバーとして集まってくる。職業的交響楽団がまだ誕生していない時代の、あるいはできたと思っただけ潰れてしまう時代の、職業的管楽器奏者の暮

らしぶりはそういうものだった。多くの弦楽器奏者も同じような具合と考えていい。

いや、9月1日午前中の宮田清蔵であった。目黒の映画館での練習はいつもの仕事のためのリハーサルとは違っていった。特別な目的があった。ハタノ・オーケストラに帝国ホテルのお抱えになる話が来ていた。そのオーディションに備えての稽古である。帝国ホテルは、レストラン等での演奏者として集めていた白系ロシア人らを核にして東京シンフォニー・オーケストラを結成し、軌道に乗せつつあった。すると、食事ときやパーティ時の演奏者に、当然空きが出てくる。交響楽から軽音楽まで。ホテルには生演奏がなくなっちゃ！大正後期のトレンドであろう。無声映画館の楽士の仕事も増える一方だった。上手な演奏家は売り手市場で生きる喜びを満喫しはじめていた。帝国ホテルの専属になれば、楽士の給料は大企業のサラリーマンの数倍。そんな時代が来ていた。宮田清蔵ら、ハタノ・オーケストラのメンバーの胸の中にも希望の火が燃えていた。

そこに地震が来た。宮田は語る。「練習中、突然、ドンドンドンと突き上げられる感じがし、そのうちグラグラと大きく揺れ出しました」。メンバーはパニックに陥る。東京は、まだ江戸だった幕末の安政の大地震（1855年）以来、大災害を伴う規模の地震を経験していなかった。久々すぎて馴染みがない。宮田は言う。「瞬間何が起きたのか、全然予期をしなかったことで大変戸惑った」。目黒キネマは倒壊するのではないか。もはや終わりか。だが、建物は持ちこたえた。生き埋めにならずに済んだ。むろん練習は中止。メンバーは急遽帰宅だ。家は大丈夫か。宮田は目黒から本郷の家まで歩いていった。誰もが帰宅難民である。宮田の家は無事立っていた。一安心。

宮田の場合は、地震当日の仕事先が目黒で、家が本郷。東京でも西側だからまだままだったのだらう。東側の下町はどうだったか。人口が集中し、地盤が概して軟弱で、火も烈しく出た。下町の本所の映画館、辰巳劇場のオーケストラの一員であった、小野アンナ門下のヴァイオリニスト、高橋衛三男は、やはり大森盛太郎のインタビューにこう答えている。

「この日、早めに劇場に着いて、ヴァイオリンの手入れをしていた」。映画の上映は午後1時から。開場前でお客さんはまだいない。「突然グラグラと大揺れのする地震に、外に飛び出したが、とても立っていることもできないほどで、劇場内では大きな音がしていた」。揺れは数十秒続き、いったん収まり、また揺れる。その合間、高橋は気づく。大切な楽器を劇場内に置いてきてしまった。取りに戻らねば。劇場に入ってみる。2階席は倒壊し、1階に落ちてきている。上映時間なら大惨事だ。建物内は粉塵が舞い散って息苦しい。何とか愛器を見つけ、持ちだし、上野公園に逃げることにする。「初体験の大地震で、恐怖と不安」にとられながら、上野を目指して歩いたが、「時々大きく揺れる余震に気が転倒していたのでしょう」。高橋は、逃げ惑う群衆に揉まれながら、やっとの思いで上野公園に辿りつき、ほっとして、初めて気づく。いつの間にか手ぶらである。命がけで倒壊寸前の辰巳劇場に入って回収したヴァイオリンがない。どこかに落としたか、置き忘れたか。高橋は上野で呆然となって放心した。

ハルピンから東京へ ——山田耕筈の回想

さて、山田耕筈はというと、もちろんハルピ

ンにいる。ハルビンの白系ロシア人オーケストラ、メッテルの指揮する東支鉄道交響楽団を日本に招聘し、うまく行けばメンバーを大勢引き抜いて東京に日露混成の新オーケストラを誕生させる。ハルビンではソ連と中華民国が支配権をめぐるさまざまな駆け引きをしていて、ソ連から逃げてきた亡命者たちは先行きに不安を覚えざるを得ず、好条件で東京の新しい交響楽団に誘えば喜ぶ者は確かに多かったはずである。スポンサーもいる。山田の戦略は絵に描いた餅ではなかった。すこぶる実現可能性のあるものであった。その新オーケストラを山田が指揮する。そして、やはり白系ロシア人に日本人メンバーを混ぜた、ゲルシュコヴィチの率いる東京シンフォニー・オーケストラと、日本楽壇の覇権を競う。そんな筋書きを順調に運べていたと思ったら、地震である。

山田は1954(昭和29)年に日本経済新聞に寄せた文章で、そのときを振り返っている。「幸い同楽団[東支鉄道交響楽団]の指揮者メッテル君とは旧知の間柄なのでハルビンへ着くなり相談を開始し、東鉄長官[東支鉄道長官]の許諾も得られたので、いよいよ明日は手金を渡して調印という九月一日の夕方だった。関東大震災の悲報を満鉄からひそかに知らしてよこしたのだ。全くがく然そのものであった。しかも露字紙の伝えるところによれば、名古屋以東碓氷峠に至るまで水中に没し去ったというのであってみれば、私としては万事休すだ」

東日本は広範囲が沈没してしまった！ハルビンの新聞がそう伝えた。何しろ東京の多くの新聞社が焼失して沈黙している。日本ではラジオ放送もまだ始まっていない。日本の政府や軍も正確な情報収集には手間取っている。結果、内外にデマが飛び交った。日本が沈没した、富士山が大噴火した、震災は某国の地

震兵器によるものだ、大正天皇は療養先で地震に巻き込まれ崩御した、日本帝国主義に不満を持つ朝鮮独立派が日本人社会主義者と共闘して暴力革命を起こそうとしている、その背後にはソ連がいる、朝鮮人が東京や横浜で組織的に放火している、朝鮮人と日本陸軍が東京各所で交戦中だ……。噂話が量産され、独り歩きし、内外の新聞雑誌がまことしやかに報じてしまう。山田も翻弄された。

が、東京や横浜が焼け野原や廃墟と化し、何万か何十万もの犠牲者が出ているらしいとはいえ、沈没はしていないし、社会機能もそれなりに維持されているらしいとわかってくる。山田は急遽帰国し、東京まで何としても戻ることにした。大阪まではかろうじて順調。東海道線で名古屋に行き、東海道線のそこから先は寸断されているので、中央線で長野県を經由して関東に向かう。車内はすし詰め。山梨県の上野原駅までは辿りついたが、そこから八王子駅までは不通区間になっていた。みんな歩く。山田も歩く。峠を越える。背負った荷物の重みが肩に食い込む。痛い。苦しむ。やっとの思いで八王子駅へ。そこから新宿行きの列車が出る。山田は乗り込む。座れる。汗をぬぐう。9月14日だ。ところがそこで山田はデマの支配する社会の現実につき遭遇した。

山田は回想する。「これから発車という間際に、一人の青年が車窓からフォームに引きずり下されたのだ。凶器を携帯している鮮人[朝鮮人]という嫌疑で、その青年の後方について二人の兵士がわれわれの目の前で実弾をこめたのには、息を奪われる思いだった」。朝鮮人が組織的なテロ活動を行っている！このデマを9月の途中まで、軍や警察も全体ではないが信じていた。本当に朝鮮人なのかさえわからない、とにかくもめに巻き込まれ、命さ

え危なくなっている青年に、山田は同情するばかりではなかった。自らの危険を感じた。車内では「仲間がいるぞ、持ち物を調べろ、きつと武器を携行している奴がいる、そいつもまた朝鮮人だ、引きずり下ろせ」といった怒号が飛び交っている。実は山田は、ハルビンで日本の治安を心配し、いざという時のために飛び道具を入手していた。コルトを2挺、リュックサックに入れている。みつかったら暴徒になぶり殺しにされかねない。どうやって生きのこる？ すかさず山田得意の大ハツトリが出た。山田は立ち上がって芝居を始めた。大阪毎日新聞社の記者だと名乗った。実際、山田は当時、大阪毎日新聞の囑託しよくたくの身分を持っていた。だからまったくの嘘というわけでもないのだが。「新聞記者として私は諸君に提案する。通行証の有無をまず調べること。車内の在郷軍人団に願って通路を右左に区分していただく。その上で調べる」。

山田は声がいい。声楽家でもある。車内を鎮しずめてしまった。しかも手荷物検査をしようとすると雰囲気を通行証検査にすりかえた。山田の拳銃は発見されずに済み、彼は無事、新宿駅に到着した。

被災地東京に音楽を!

それから山田はどうしたか。東京シンフォニー・オーケストラの中核にいた西洋人音楽家たちは、主に関西に逃げていった。神戸港から日本を離れる者も多かった。日本人の音楽家も、特に映画館の楽士は仕事を完全になくなったから、名古屋・大阪方面にどっと動いた。山田も、混乱する東京でなく、たとえば大阪でしばらく仕事をしてよかった。でも、山田は

東京にとどまり続けた。彼の本能は危機をチャンスとすることをいつものように山田に命じた。

山田は、せっかく東京シンフォニー・オーケストラのメンバーになれていたのに急に仕事を失った日本人演奏家たちに声を掛けた。その他、昔からの仲間を集めて臨時編成の管弦楽団を組織し、日本各地で自らの指揮による演奏会を開いた。関東大震災の被災者きに義捐金えんを送る目的と銘打った。これで演奏家も食べられたし、この山田の活動を新聞社が支えた。クラシック音楽はお金持ちの道楽や高学歴青年の教養にとどまらない。音楽は人を見たらテロリストと思うような殺伐きつぱつとした人心を鎮め、人間らしさを蘇らせる大切な機能を大災害時に担える。不要不急の娯楽とは違う。山田はそのことを熱烈にアピールし、マスコミがそれまで以上に山田の活動に注目した。日清戦争や日露戦争時の戦意高揚とはまるで違う、音楽の新しい社会的役割を、マスコミが認知した。報道するだけでなく、新聞社自らが山田のコンサートを支援し、共催し、さらには主催した。新聞の報道と音楽家の演奏はともに社会の潤滑油じゆんかつゆであることにおいて共存共栄できる。助け合って当たり前だ。大切な認識が震災を機会に共有されてゆくことになった。

東京での山田の大きなコンサートは、震災から約3か月半経った12月23日と24日の2回、クリスマスに合わせてキリスト教的な慈善のイメージをうまく被せて、東京丸の内の報知新聞社屋内にあった報知講堂で、「山田耕筈氏指揮日本交響管絃楽団大演奏会」として行われた。主催は報知新聞社と新聞協会である。報知新聞の社屋は1922(大正11)年に落成したばかりで、大地震に耐えて健在だった。演奏されたのは、山田耕筈の交響曲へ長調《勝ちどきと平和》、同じく交響曲《明治頌歌》、そして

被災者へのしみじみとした^{なぐさ}慰めの音楽としてワーグナーの《ジークフリートの牧歌》。満場の聴衆は震災の悪夢をいつとき忘れ、安らぎに包まれた。

大震災後、すかさず地道に積み重ねられた山田の活動は、NHK交響楽団誕生のきわめて重要な伏線となる。娯楽や教養にとどまらない、社会にとってかけがえのないオーケストラのありようというものがあるらしい。そのことを山田は日本の社会に上手に親身に教えこんだ。

もちろん、震災直後の東京では、山田率いる臨時編成の管弦楽団だけではなく、東京音楽学校のオーケストラや陸海軍音楽隊も演奏したし、外来の大スター・ヴァイオリニストさえ登場した。ヤッシャ・ハイフェッツである。彼は、地震からほぼ2か月後の11月9日から11日まで3日連続で、毎回全部違う曲目によるリサイタルを行った。イジドア・アクロンのピアノ伴奏により、ラロの《スペイン交響曲》やヴェニャフスキのコンチェルト、それからバッハやパガニーニやサラサーテを弾いた。場所は帝国ホテルの演芸場である。このことは海外に広く報道され、東京は無事ではないにしても、いちおう首都としての機能をなおも果たし、ハイフェッツを聴きに來られる人間もなお住んでいるらしい

と、世界に印象づけた。

山田は1926(大正15)年刊行の『新日本史・音楽篇』にこう記している。「関東の大震災は、^{もちろん}勿論音楽界に対しても、^{あつた}重大な影響を與へたに違ひない。震災による帝都演奏場の全滅、災害に伴ふ経済的激変、それらの事情から十二年秋の楽壇は極めて^{せきばく}寂寞のうちに暮れたのであつた。けれどもそれは全く一時的の現象で、帝都の復興に伴うて、^{とみ}楽壇は頓に活気を呈するに至つた」。

そして^{かんじんかなめ}肝心要のくだりが続く。「精神的^{りよう}の糧食としての音楽の必要は、この震災によつて著しく認められ、^{かえ}却つて音楽の興隆を助けたやうにも思はれる」。禍を転じて福となすとはこういうことであろう。関東大震災の業火の中で、人はクラシック音楽の本当の値打ちを知つたのである。

文 | 片山杜秀(かたやま もりひで)

思想史研究者、音楽評論家。慶應義塾大学法学部教授。2008年、『音盤考現学』『音盤博物誌』で吉田秀和賞、サントリー学芸賞を受賞。『クラシックの核心』『ゴジラと日の丸』『近代日本の右翼思想』『未完のファシズム』『見果てぬ日本』ほか著書多数。

次回予告

関東大震災を逆手に取り、交響楽運動を再開した山田耕筰。今度はハルビンのロシア人音楽家に声を掛け、一大イベントを企画します。

Information

新入団 チェロ 中実穂(なかみほ) 2021年3月1日付で入団。

契約終了 ゲストコンサートマスター ライナー・キュッヒル 2021年3月31日付で契約終了。
 ヴィオラ首席客演 川本嘉子(かわもとよしこ) 2021年3月31日付で契約終了。

2020-21シーズン公演日程

	サントリーホール	東京芸術劇場	サントリーホール
	土夜/日昼	金夜/土昼	水夜/木夜
2021	05 15土 16日 6:00pm 2:00pm*	21金 22土 7:00pm 2:00pm	26水 27木 7:00pm 7:00pm
	06 5土 6日 6:00pm 2:00pm*	11金 12土	16水 17木

NHKホール改修工事のため
サントリーホールへ
会場を移して行きます。
※白目の臨時公演は
今後の順次行われます。

NHK交響楽団 5月公演 | チケット発売中

チケット料金、前売所等については、
N響ホームページの各公演ページをご覧ください。

サントリーホール

- 2021年5月15日(土) 6:00pm | 16日(日) 2:00pm
 指揮：尾高忠明 | チェロ：辻本 玲 | オーボエ：吉村結実
 クラリネット：伊藤 圭 | ファゴット：水谷上総 | ホルン：福
 川伸陽 | ハープ：早川りさこ | トランペット：菊本和昭、長
 谷川智之、安藤友樹、山本英司
 ・ハイドン/チェロ協奏曲 第2番 二長調 作品101 Hob.
 VIIb-2
 ・モーツァルト/4つの管楽器と管弦楽のための協奏交響
 曲 変ホ長調 K. 297b
 ・ドビュッシー/神聖な舞曲と世俗的な舞曲
 ・パヌフニク/交響曲 第3番「神聖な交響曲」

東京芸術劇場 コンサートホール

- 2021年5月21日(金) 7:00pm | 22日(土) 2:00pm
 指揮：原田慶太楼 | バンドネオン：三浦一馬
 ・グアルニエーリ/弦楽器と打楽器のための協奏曲 [日本
 初演]

- ・ピアノラ/バンドネオン協奏曲「アコンカグア」
- ・ヒナステラ/協奏的変奏曲 作品23
- ・ファリャ/バレエ組曲「三角帽子」—第1番

サントリーホール

- 2021年5月26日(水) 7:00pm | 27日(木) 7:00pm
 指揮：広上淳一 | ヴァイオリン：白井 圭
 ・チャイコフスキー(マカリストア編)/弦楽四重奏曲 第1番
 作品11—第2楽章「アンダンテ・カンタービレ」(弦楽合奏版)
 ・サン・サーンス/ヴァイオリン協奏曲 第3番 短調 作品61
 ・尾高悼忠/交響曲～時の彼方へ～

WEBチケットN響(手数料無料)

チケットのご予約は、スマートフォンやPC
 から、座席を選んで簡単にチケットが確保
 できる「WEBチケットN響」が便利です。



お問い合わせ：N響ガイド TEL 03-5793-8161
 ※営業日・営業時間はN響ホームページをご覧ください。

速
報
!

Music
Tomorrow
2021

東京オペラシティ コンサートホール | 2021年6月22日(火) 7:00pm
 出演者：調整中
 西村 朗/華開世界—オーケストラのための(2020)(N響委嘱作品/世界初演)
 細川俊夫/オーケストラのための「満」(2019)(第68回「尾高賞」受賞作品)ほか

特別支援・特別協力・賛助会員

Corporate Membership

特別支援

岩谷産業株式会社	代表取締役社長 間島 寛
三菱地所株式会社	執行役社長 吉田淳一
東日本旅客鉄道株式会社	代表取締役社長 深澤祐二
株式会社 みずほ銀行	頭取 藤原弘治
公益財団法人 渋谷育英会	理事長 小丸成洋

特別協力

BMW ジャパン	代表取締役社長 Christian Wiedmann
ユナイテッド航空会社	アジア太平洋・大西洋地区営業担当副社長 Marcel Fuchs
全日本空輸株式会社	代表取締役社長 平子裕志
株式会社 松尾楽器商会	代表取締役 松尾治樹
ヤマハ株式会社	代表執行役社長 中田卓也
株式会社 パレスホテル	代表取締役社長 吉原大介

賛助会員

・ 常陸宮	・ イーソリューションズ(株) 代表取締役社長 佐々木経世	・ SMBC日興証券(株) 代表取締役社長 近藤雄一郎
・ (株)アートレイ 代表取締役 小森活美	・ EY新日本有限責任監査法人 理事長 片倉正美	・ SCSK(株) 代表取締役社長執行役員 最高執行責任者 谷原 徹
・ (株)アイシン 取締役社長 伊勢清貴	・ 池上通信機(株) 代表取締役社長 清森洋祐	・ (株)NHKアート 代表取締役社長 小野木昌史
・ 葵設備工事(株) 代表取締役社長 安藤正明	・ 伊東国際特許事務所 会長 伊東忠彦	・ (一財)NHK インターナショナル 理事長 小泉公二
・ アサヒグループホールディングス(株) 代表取締役社長兼CEO 勝木敦志	・ 井村屋グループ(株) 代表取締役会長 浅田剛夫	・ NHK 営業サービス(株) 代表取締役社長 松原洋一
・ (株)朝日工業社 代表取締役社長 高須康有	・ (株)インターネットイニシアティブ 代表取締役会長 鈴木幸一	・ (株)NHK エデュケーショナル 代表取締役社長 熊楚御堂朋子
・ 朝日信用金庫 理事長 橋本 宏	・ (株)ウイングツー 代表取締役 福田健二	・ (一財)NHK エンジニアリングシステム 理事長 山本 真
・ 有限責任 あずさ監査法人 理事長 高波博之	・ AGC(株) 代表取締役兼社長執行役員 平井良典	・ (株)NHK エンタープライズ 代表取締役社長 安齋尚志
・ アットホーム(株) 代表取締役社長 鶴森康史		

- ・(学)NHK学園
理事長 | 浜田泰人
- ・(株)NHK グローバルメディアサービス
代表取締役社長 | 荒木裕志
- ・(-財)NHK サービスセンター
理事長 | 黄木紀之
- ・(株)NHK出版
代表取締役社長 | 森永公紀
- ・(株)NHK テクノロジーズ
代表取締役社長 | 大橋一三
- ・(株)NHK ビジネスクリエイティブ
代表取締役社長 | 谷弘聡史
- ・(株)NHK プロモーション
代表取締役社長 | 風谷英隆
- ・(-財)NHK放送研修センター
理事長 | 原田達也
- ・(株)エヌオーイー
代表取締役社長 | 橋本肇
- ・(株)NTTドコモ
代表取締役社長 | 井伊基之
- ・(株)NTTファンリティアーズ
代表取締役社長 | 松原和彦
- ・ENEOS ホールディングス(株)
代表取締役社長 社長執行役員
大田勝幸
- ・荏原冷熱システム(株)
代表取締役 | 庄野 道
- ・大崎電気工業(株)
代表取締役会長 | 渡辺佳英
- ・大塚ホールディングス(株)
代表取締役社長兼CEO | 樋口達夫
- ・(株)大林組
代表取締役社長 | 蓮輪賢治
- ・オールニッポンヘリコプター(株)
代表取締役社長 | 柳川 淳
- ・岡崎耕治
- ・沖電気工業(株)
代表取締役執行役員 | 鎌上信也
- ・小田急電鉄(株)
取締役社長 | 星野晃司
- ・花王(株)
代表取締役 社長執行役員
長谷部佳宏
- ・カシオ計算機(株)
代表取締役社長 | 櫻尾和宏
- ・鹿島建設(株)
代表取締役社長 | 押味至一
- ・(株)加藤電気工業所
代表取締役 | 加藤浩章
- ・角川歴彦
- ・(株)金子製作所
代表取締役 | 金子晴房
- ・カルチュア・エンタテインメント(株)
代表取締役社長 | 中西一雄
- ・(株)関電工
取締役社長 社長執行役員
仲摩俊男
- ・(株)かんぼ生命保険
取締役兼代表執行役社長 | 千田哲也
- ・キッコーマン(株)
取締役名譽会長 | 茂木友三郎
- ・(株)教育芸術社
代表取締役 | 市川かおり
- ・(株)共栄サービス
代表取締役 | 三宅国紀
- ・(株)共同通信会館
代表取締役 | 牧野和宏
- ・(-社)共同通信社
社長 | 水谷 亨
- ・キリンホールディングス(株)
代表取締役社長 | 磯崎功典
- ・キングレコード(株)
代表取締役 | 村上 潔
- ・(学)国立音楽大学
理事長 | 山田晴彦
- ・グラフェンプラットフォーム(株)
代表取締役 | 長谷川正治
- ・京王電鉄(株)
代表取締役 | 紅村 康
- ・京成電鉄(株)
代表取締役社長 | 小林敏也
- ・KDDI(株)
代表取締役社長 | 高橋 誠
- ・京浜急行電鉄(株)
取締役社長 | 原田一之
- ・(医)社団 恒仁会
理事長 | 伊藤恒道
- ・(株)サウンド&ミュージック クリエーション
代表取締役 | 河合由里子
- ・佐川印刷(株)
代表取締役会長 | 木下宗昭
- ・(株)サコ コンサルタント
取締役 総務部長 | 大森 保
- ・佐藤弘康
- ・サフラン電機(株)
代表取締役 | 藤崎貴之
- ・(株)サンセイ
代表取締役社長 | 富田 稔
- ・サントリーホールディングス(株)
代表取締役社長 | 新浪剛史
- ・(株)ジャパン・アーツ
代表取締役社長 | 二瓶純一
- ・(株)ジュビターテレコム
代表取締役社長 | 石川雄三
- ・ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
- ・(株)白川プロ
代表取締役社長 | 白川亜弥
- ・新赤坂クリニック
院長 | 松木隆央
- ・信越化学工業(株)
代表取締役会長 | 金川千尋
- ・新菱冷熱工業(株)
代表取締役社長 | 加賀美 猛
- ・(株)スカパーJSATホールディングス
代表取締役社長 | 米倉英一
- ・(株)菅原
代表取締役社長 | 古江訓雄
- ・スズキ(株)
代表取締役社長 | 鈴木俊宏
- ・鈴木美代
- ・住友商事(株)
代表取締役社長執行役員 CEO
兵頭誠之
- ・住友電気工業(株)
社長 | 井上 治
- ・住友電設(株)
取締役社長 | 坂崎全男
- ・セイコーホールディングス(株)
代表取締役会長兼グループ CEO
服部真二
- ・聖徳大学
学長 | 川並弘純
- ・西武鉄道(株)
取締役社長 | 喜多村樹美男

- ・関彰商事(株)
代表取締役会長 | 関 正夫
- ・(株)セノン
代表取締役 | 小谷野宗靖
- ・(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント
代表取締役社長CEO | 村松俊亮
- ・損害保険ジャパン(株)
取締役社長 | 西澤敬二
- ・第一三共(株)
代表取締役会長 | 中山譲治
- ・ダイキン工業(株)
取締役社長 | 十河政則
- ・大成建設(株)
代表取締役社長 | 相川善郎
- ・高砂熱学工業(株)
代表取締役社長 | 小島和人
- ・(株)ダク
代表取締役 | 福田浩二
- ・(株)竹中工務店
取締役執行役員社長 | 佐々木正人
- ・田原 昇
- ・中外製薬(株)
代表取締役会長 | 小坂達朗
- ・(株)電通
代表取締役 社長執行役員 | 五十嵐 博
- ・(株)TOKAIホールディングス
代表取締役社長 | 鴛田勝彦
- ・東海旅客鉄道(株)
代表取締役社長 | 金子 慎
- ・東急(株)
取締役社長 | 高橋和夫
- ・(株)東急文化村
代表取締役社長 | 中野哲夫
- ・(株)東京交通会館
取締役社長 | 八木橋孝男
- ・東信地所(株)
代表取締役 | 堀川利通
- ・東武鉄道(株)
取締役社長 | 根津嘉澄
- ・東邦音楽大学
理事長・学長 | 三室戸東光
- ・桐朋学園大学
学長 | 梅津時比古
- ・東邦ホールディングス(株)
代表取締役会長 | 濱田矩男
- ・(株)東北新社
代表取締役社長 | 中島信也
- ・(-財)凸版印刷三幸会
代表理事 | 足立直樹
- ・トヨタ自動車(株)
代表取締役社長 | 豊田章男
- ・内外施設工業(株)
取締役会長 | 林 正道
- ・中銀グループ
代表 | 渡辺蔵人
- ・中山武之
- ・日本ガン(株)
代表取締役社長 | 小林 茂
- ・(株)日本国際放送
代表取締役社長 | 城本 勝
- ・日本運通(株)
代表取締役社長 | 齋藤 充
- ・日本電気(株)
代表取締役執行役員社長兼CEO
森田隆之
- ・日本土地建物(株)
代表取締役社長 | 平松哲郎
- ・(-財)日本放送協会共済会
理事長 | 北爪秀樹
- ・日本郵政(株)
取締役兼代表執行役社長 | 増田寛也
- ・(株)ニフコ
代表取締役社長兼COO | 柴尾雅春
- ・野村ホールディングス(株)
代表執行役社長 | 奥田健太郎
- ・パナソニック(株)
代表取締役社長 | 津賀一宏
- ・(有)パルフェ
代表取締役 | 伊藤良彦
- ・東日本電信電話(株)
代表取締役社長 | 井上福造
- ・(株)日立製作所
執行役社長 | 東原敏昭
- ・(株)フォトロン
代表取締役 | 瀧水 隆
- ・福田三千男
- ・富士通(株)
代表取締役社長 | 時田隆仁
- ・富士通フロンテック(株)
代表取締役社長 | 川上博茅
- ・古川建築音響研究所
所長 | 古川宣一
- ・(株)朋栄ホールディングス
代表取締役 | 清原慶三
- ・(株)放送衛星システム
代表取締役社長 | 井上樹彦
- ・(公財)放送文化基金
理事長 | 濱田純一
- ・ホクト(株)
代表取締役 | 水野雅義
- ・前田工織(株)
代表取締役社長兼COO | 前田尚宏
- ・(株)松尾楽器商会
代表取締役 | 松尾治樹
- ・丸紅(株)
代表取締役社長 | 柿木真澄
- ・溝江建設(株)
代表取締役社長 | 溝江 弘
- ・三井住友海上火災保険(株)
取締役社長 | 船曳真一郎
- ・(株)三井住友銀行
頭取 | 高島 誠
- ・三菱商事(株)
代表取締役社長 | 垣内威彦
- ・三菱電機(株)
執行役社長 | 杉山武史
- ・(株)緑山スタジオ・シティ
代表取締役社長 | 難波一弘
- ・三橋産業(株)
代表取締役会長 | 三橋洋之
- ・三原穂積
- ・(学)武蔵野音楽学園
理事長 | 福井直敬
- ・(株)明治
代表取締役社長 | 松田克也
- ・(株)明電舎
取締役社長 | 三井田 健
- ・(株)目の眼
代表 | 櫻井 恵
- ・森ビル(株)
代表取締役社長 | 辻 慎吾
- ・森平舞台機構(株)
代表取締役 | 森 健輔
- ・山田産業(株)
代表取締役 | 山田裕幸

- ・(株)山野楽器
代表取締役社長 | 山野政彦
- ・(株)ヤマハミュージックジャパン
代表取締役社長 | 押木正人
- ・ユニオンツール(株)
代表取締役会長 | 片山貴雄
- ・米澤文彦
- ・(株)読売広告社
代表取締役社長 | 藤沼大輔

- ・(株)読売旅行
代表取締役社長 | 坂元 隆
- ・リコージャパン(株)
代表取締役 社長執行役員
坂主智弘
- ・料亭 三長
代表 | 高橋千善
- ・(株)リンレイ
代表取締役社長 | 鈴木信也

- ・(有)ルナ・エンタープライズ
代表取締役 | 戸張誠二
 - ・ローム(株)
代表取締役社長 社長執行役員
松本 功
 - ・YKアクロス(株)
代表取締役社長 | 中野健次
- (五十音順、敬称略)

NHK交響楽団への ご寄付について

NHK交響楽団は多くの方々の貴重なご寄付に支えられて、積極的な演奏活動を展開しております。定期公演の充実をはじめ、著名な指揮者・演奏家の招聘、意欲あふれる特別演奏会の実現、海外公演の実施など、今後も音楽文化の向上に努めてまいりますので、みなさまのご支援をよろしくお願い申し上げます。

「賛助会員」入会のご案内

NHK交響楽団は賛助会員制度を設け、上記の方々にご支援をいただいております。当団の経営基盤を支える大きな柱となっております。会員制度の内容は次の通りです。

■当団は「公益財団法人」として認定されています。

当団は芸術の普及向上を行うことを主目的とする法人として「公益財団法人」の認定を受けているため、当団に対する寄付金は税制上の優遇措置の対象となります。

1. 会費：一口50万円(年間)
2. 期間：入会は随時、年会費をお支払いいただいたときから1年間
3. 入会の特典：『フィルハーモニー』、『年間パンフレット』、『第9』演奏会プログラム等にご芳名を記載させていただきます。
N響主催公演のご鑑賞の機会を設けます。

遺贈のご案内

資産の遺贈(遺言による寄付)を希望される方々のご便宜をお図りするために、NHK交響楽団では信託銀行が提案する「遺言信託制度」をご紹介します(三井住友信託銀行と提携)。相続財産目録の作成から遺産分割手続の実施まで、煩雑な相続手続を信託銀行が有償で代行いたします。まずはN響寄付担当係へご相談ください。

お問い合わせ

公益財団法人 NHK交響楽団「寄付担当係」

TEL: 03-5793-8120

ご寄付の御礼

この度の新型コロナウイルス感染症の流行に際し、下記の法人より日本オーケストラ連盟を通じて、ご寄付をいただきました。

東京海上日動火災保険株式会社

ご支援に心より御礼を申し上げます。

NHK交響楽団

首席指揮者：パーヴォ・ヤルヴィ

名誉音楽監督：シャルル・デュトワ

桂冠名誉指揮者：ヘルベルト・ブロムシュテット

桂冠指揮者：ウラディーミル・アシュケナージ

正指揮者：外山雄三、尾高忠明

第1コンサートマスター：篠崎史紀

コンサートマスター：伊藤亮太郎

ゲスト・コンサートマスター：白井圭

第1ヴァイオリン

青木 調
字根京子
大鹿由希
倉富亮太
後藤 康
小林玉紀
高井敏弘
猶井悠樹
中村弓子
降旗貴雄
○松田拓之
宮川奈々
○森田昌弘
○山岸 努
□横島礼理
○横溝耕一

第2ヴァイオリン

○大林修子
○大宮臨太郎
木全利行
齋藤麻衣子
嶋田慶子
○白井 篤
鈴木弘一
○田中晶子
坪井きらら
丹羽洋輔
平野一彦
船木陽子
俣野賢仁
○三又治彦
宮里親弘

矢津将也
山田慶一
横山俊朗
米田有花

ヴィオラ

◎佐々木 亮
☆中村翔太郎
小野 聡
小島茂隆
□坂口弦太郎
谷口真弓
飛澤浩人
○中村洋乃理
松井直之
御法川雄矢
○村松 龍
山田雄司

チェロ

◎辻本 玲
◎藤森亮一
市 寛也
小島幸法
三戸正秀
中 実穂
○西山健一
○藤村俊介
宮坂拓志
村井 将
○山内俊輔
渡邊方子

コントラバス

◎吉田 秀
☆市川雅典
☆西山真二
稻川永示
○岡本 潤
今野 京
佐川裕昭
本間達朗
矢内陽子

フルート

◎甲斐雅之
◎神田寛明
梶川真歩
菅原 潤
中村淳二

オーボエ

◎青山聖樹
◎吉村結実
池田昭子
坪池泉美
和久井 仁

クラリネット

◎伊藤 圭
◎松本健司
山根孝司

ファゴット

◎宇賀神広宣
◎水谷上総
佐藤由起
菅原恵子
森田 格

ホルン

◎今井仁志
◎福川伸陽
石山直城
勝俣 泰
木川博史
野見山和子

トランペット

◎菊本和昭
◎長谷川智之
安藤友樹
山本英司

トロンボーン

◎古賀 光
◎新田幹男
池上 亘
栗田雅勝
黒金寛行
吉川武典

テューバ

池田幸広

ティンパニ

◎植松 透
◎久保昌一

打楽器

石川達也
黒田英実
竹島悟史

ハープ

早川りさこ

ステージ・マネージャー

徳永匡哉
深畑一徳

ライブラリアン

沖 あかね
木村英代

(五十音順、◎首席、☆首席代行、○次席、□次席代行、#インスペクター)

NHK SYMPHONY ORCHESTRA, TOKYO

Chief Conductor: Paavo Järvi

Music Director Emeritus: Charles Dutoit

Honorary Conductor Laureate: Herbert Blomstedt

Conductor Laureate: Vladimir Ashkenazy

Permanent Conductors: Yuzo Toyama, Tadaaki Otaka

First Concertmaster: Fuminori Maro Shinozaki

Concertmaster: Ryotaro Ito

Guest Concertmaster: Kei Shirai

1st Violins

- Shirabe Aoki
Kyoko Une
Yuki Oshika
Ryota Kuratomi
Ko Goto
Tamaki Kobayashi
Toshihiro Takai
Yuki Naoi
Yumiko Nakamura
Takao Furihata
○ Hiroyuki Matsuda
Nana Miyagawa
○ Masahiro Morita
○ Tsutomu Yamagishi
□ Masamichi Yokoshima
○ Koichi Yokomizo

2nd Violins

- Nobuko Obayashi
○ Rintaro Omiya
Toshiyuki Kimata
Maiko Saito
Keiko Shimada
○ Atsushi Shirai
Koichi Suzuki
○ Akiko Tanaka
Kirara Tsuboi
Yosuke Niwa
Kazuhiko Hirano
Yoko Funaki
Kenji Matano
○ Haruhiko Mimata
Chikahiro Miyazato
Masaya Yazu
Yoshikazu Yamada
Toshiro Yokoyama
Yuka Yoneda

Violas

- Ryo Sasaki
☆ Shotaro Nakamura
Satoshi Ono
Shigetaka Obata
□ Gentaro Sakaguchi
Mayumi Taniguchi
Hiroto Tobisawa
○ Hironori Nakamura
Naoyuki Matsui
Yuya Minorikawa
○ Ryo Muramatsu
Yuji Yamada

Cellos

- Rei Tsujimoto
○ Ryoichi Fujimori
Hiroya Ichi
Yukinori Kobatake
Masahide Sannohe
Miho Naka
○ Ken'ichi Nishiyama
○ Shunsuke Fujimura
Hirosi Miyasaka
Yuki Murai
○ Shunsuke Yamanouchi
Masako Watanabe

Contrabasses

- Shu Yoshida
☆ Masanori Ichikawa
☆ Shinji Nishiyama
Eiji Inagawa
○ Jun Okamoto
Takashi Konno
Hiroaki Sagawa
Tatsuro Honma
Yoko Yanai

Flutes

- Masayuki Kai
○ Hiroaki Kanda
Maho Kajikawa
Jun Sugawara
Junji Nakamura

Oboes

- Satoki Aoyama
○ Yumi Yoshimura
Shoko Ikeda
Izumi Tsuboike
Hitoshi Wakui

Clarinets

- Kei Ito
○ Kenji Matsumoto
Takashi Yamane

Bassoons

- Hironori Ugajin
○ Kazusa Mizutani
Yuki Sato
Keiko Sugawara
Itaru Morita

Horns

- Hitoshi Imai
○ Nobuaki Fukukawa
Naoki Ishiyama
Yasushi Katsumata
Hirosi Gigawa
Kazuko Nomiyama

Trumpets

- Kazuaki Kikumoto
○ Tomoyuki Hasegawa

Tomoki Ando
Eiji Yamamoto

Trombones

- Hikaru Koga
○ Mikio Nitta
Ko Ikegami
Masakatsu Kurita
Hiroyuki Kurogane
Takenori Yoshikawa

Tuba

Yukihiro Ikeda

Timpani

- Toru Uematsu
○ Shoichi Kubo

Percussion

Tatsuya Ishikawa
Hidemi Kuroda
Satoshi Takeshima

Harp

Risako Hayakawa


Stage Manager

Masaya Tokunaga
Kazunori Fukahata

Librarian

Akane Oki
Hideyo Kimura

(○ Principal, ☆ Acting Principal, ○ Vice Principal, □ Acting Vice Principal, # Inspector)



みんな、アーティスト。

「キラキラとアートコンクール」は、障がいのある子どもたちの可能性の応援を目的に2002年にスタートしました。本コンクールが子どもたちの優れた才能を評価・発掘・展示する機会となり、子どもたちが絵を描く楽しみや喜びを増し、芸術活動の裾野が広がることを願い、応援してまいります。

全応募作品はコンクール Web サイトで公開しています。
<https://kira-art.jp/>

人を、想う力。街を、想う力。 **三菱地所グループ**

大人の旅を、ごいっしょに。



大人になったら、したいこと。

大人の休日 倶楽部



50歳からの旅に、この一枚。大人の休日倶楽部カード。

◎満50歳以上の方へ。



大人の休日倶楽部 **ミドル**
JR東日本線・JR北海道線のきっぷが何回でも
5%割引*
初年度年会費(2,624円)無料!

入会後1年間は年会費が無料となります。なお、退会1年以内に再入会された方は対象となりません。

※発売箇所・利用期間等に制限があります。

◎男性満65歳以上、女性満60歳以上の方へ。



大人の休日倶楽部 **ジパング**
JR東日本線・JR北海道線のきっぷが何回でも
30%割引*
年会費:個人会員4,364円・夫婦会員7,458円

ご夫婦の場合、どちらかが満65歳以上なら、お二人そろって夫婦会員としてご入会いただけます。

◎くわしくはJR東日本・JR北海道の主な駅・びゅうプラザ・駅たびコンシェルジュにある入会申込書をご覧ください。

「大人の休日倶楽部」ホームページ www.jreast.co.jp/otona/

JR東日本 大人の休日・ジパング倶楽部事務局:050-2016-7000(平日・土曜9:00~17:30受付、日・祝日・年末年始は休み)

※クレジットカードの審査により、ご入会いただけない場合があります。※記載の情報は2021年3月現在のものです。

〈みずほ〉は、サステナビリティへの取り組みを通じ、
環境の保全と、経済・産業・社会の
持続的な発展・繁栄に貢献します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

<p>1 貧困をなくそう</p> 	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> 	<p>4 質の高い教育をみんなに</p> 	<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p> 	<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p> 	<p>8 働きがいも経済成長も</p> 
<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> 	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p> 	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p> 	<p>13 気候変動に具体的な対策を</p> 	<p>16 平和と公正をすべての人に</p> 	<p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> 

大きかったランドセルが
小さく見えても

「おかえり」って
いつまでも言えますように。



子どもたちに継続的な交通安全教育を。

KIDS' SAFETY CHALLENGE

ひろしま交通事故防止キャンペーン「キッズセーフティーチャレンジ」

渋谷育英会は、福山通運株式会社の創業者 故 渋谷 昇名誉会長が、子どもたちの教育を支援するために私財を寄付され、1985年6月に設立されました。以来、不登校児童・生徒の問題に対する取り組みをはじめ、高校生、大学生への奨学金の貸与事業、教育機関や文化振興を行う地域団体及び青少年の健全育成活動を行う団体等に支援をしています。

公益財団法人 **渋谷育英会**

〒721-0974 広島県福山市東深津町四丁目20番1号
TEL:084-925-2030 FAX:084-925-1370

THE



美と技の、究極を紡ぐ。



ドイツと日本、感性と技術の純粋な結晶。

THE 7 PURE METAL EDITION

BMWと日本の名匠プロジェクトによる日本特別限定車、開発ストーリー公開中。

bmw.co.jp

詳しくはお近くのBMW正規ディーラーまたはBMWカスタマー・インタラクション・センターへ 0120-269-437

世界をつなぐ、あたらしい空へ。



Inspiration of JAPAN

A STAR ALLIANCE MEMBER 

www.ana.co.jp

H. Matsuo

H. Matsuo Musical Instruments Co., Ltd.



— いつまでも最良の状態でご愛用頂くために —

いつでも、いつでも、お客さまに最良の状態でご愛用頂くために、
私たちは1953年の創業以来、常にピアノ技術の追求と研鑽に努めて参りました。

調律、保守点検、部分修理、オーバーホールなど、メンテナンスのことなら
豊富な修理実績を持ち、コンサートチューナーの揃った松尾楽器商会へ是非お任せください。



ご依頼は下記にて承ります

本店技術部 電話:03-3539-1720 technical_sector@h-matsuo.co.jp 受付10:30~17:30 日曜定休

関西技術センター 電話:0798-74-1888 kansai@h-matsuo.co.jp 受付 9:30~18:00 日曜定休

創業
1953年

株式会社 松尾楽器商会



東京都千代田区有楽町1-5-1 日比谷マリンビル Tel.03-3539-1711 webadmin@h-matsuo.co.jp

喜怒哀楽を語りつくそう。

感情のあやを、想いのひだを、音に宿して語りうること。

C3X *espressivo*、求めた表現力は、心と同じ繊細さ、広大さ。

C3X *espressivo*



弾力性に優れ、音色の幅を広げるハンマーや、木材自体の響きを引き出す曲練支柱など、プレミアムピアノの開発で培われた技術を結集したほか、響板にはヨーロッパスプルースを使用するなど素材も厳選。仕上げの整音・整調工程にはより多くの時間をかけ、一台一台丁寧に、緻密な調整を行うことで、C3X *espressivo*ならではの多彩な表現力や豊かな音を実現しました。

GRAND PIANO C3X *espressivo*

希望小売価格 3,630,000円
(税抜価格 3,300,000円)



C3X *espressivo* WEB サイト

- ヤマハピアノ・電子ピアノホームページ <https://jp.yamaha.com/piano/>
 - ヤマハピアノのお問い合わせは、お客様コミュニケーションセンター
- ピアノご相談窓口 ☎0570-003-808 営業時間:月曜~金曜10:00~17:00(祝日およびセンター指定休日を除く)

株式会社ヤマハミュージックジャパン



PALACE HOTEL TOKYO



美しい国の、美しい一日がある。

パレスホテル東京

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-1-1 tel 03-3211-5211 (代表) www.palacehoteltokyo.com



LEADING
HOTELS



Forbes
TRAVEL GUIDE

Iwatani

水素で 世界を動かせ。

時代が問う。人類は次の100年を託せるエネルギーを持っているか。

私たちには、水素がある。燃焼してもCO₂を排出せず、

大きなパワーを生み、枯渇することがない水素は今、

発電、車両、鉄道、船舶、製鉄などさまざまな分野で、

脱炭素エネルギーの主役として大きな期待を集めている。

だから、もっと進もう。2050年、温暖化ガス排出実質ゼロ社会の実現を目指して。

水素で、社会を、時代を、世界を動かせ。

日本には、未来を変えるエネルギーがある。

水素シェア No.1[※]

Iwatani
岩谷産業株式会社

※岩谷産業株式会社は、水素ガスの販売において国内市場シェア約70%を占めています。(2020年12月現在、自社調べ)